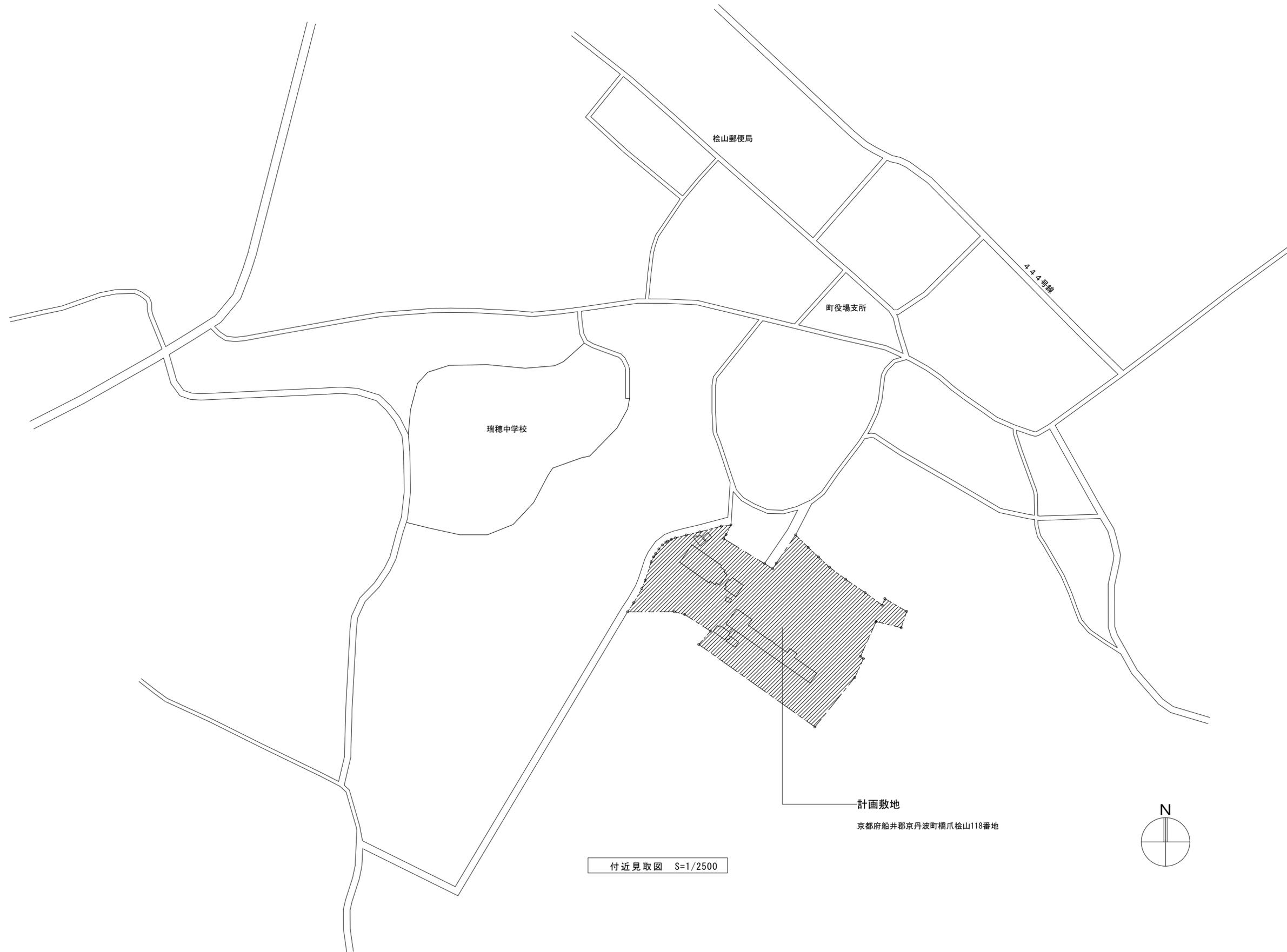


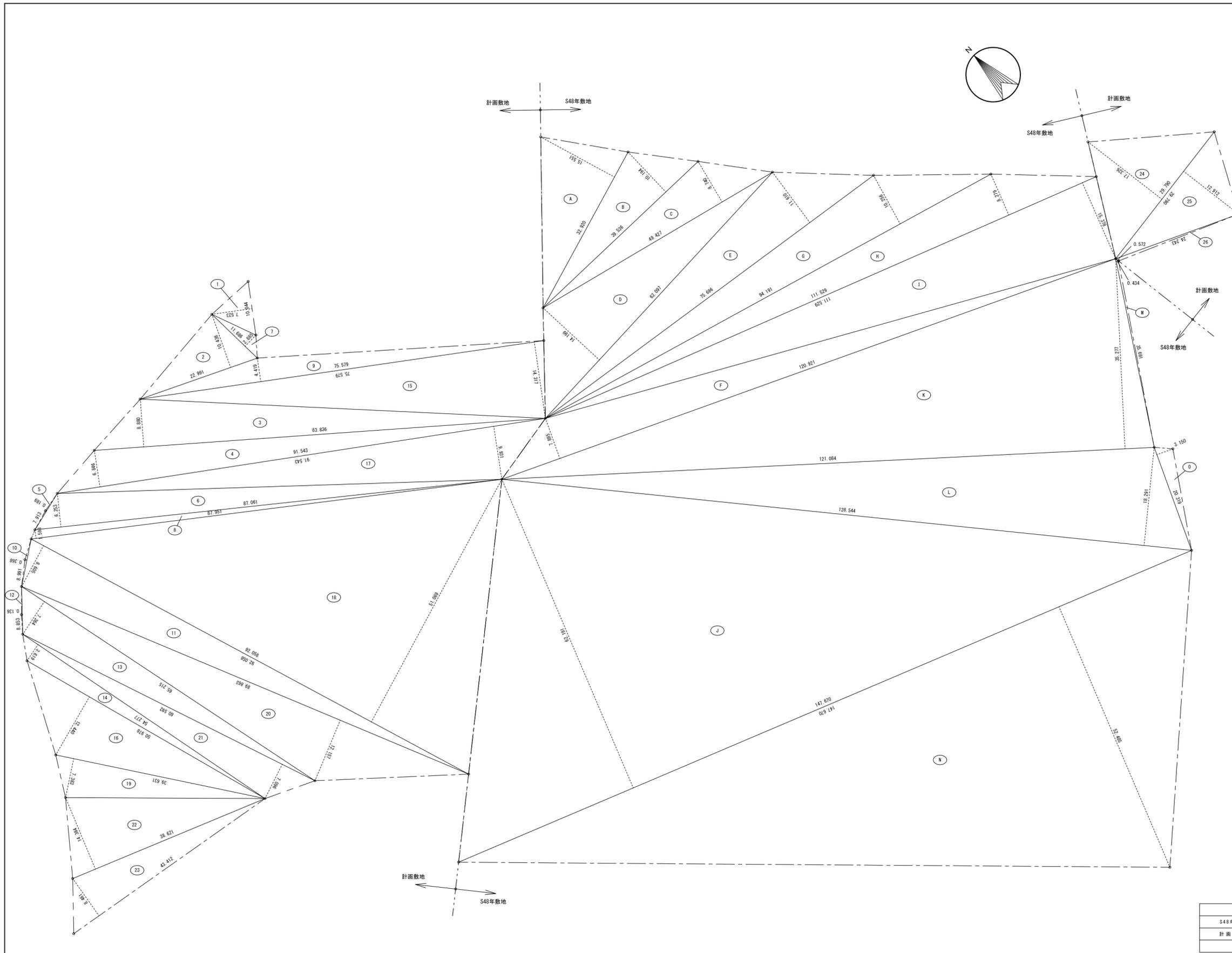
建築工事特記仕様書		章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																						
<p>【1】 工 事 概 要</p> <p>1. 工 事 場 所 京都市船井郡京丹波町橋爪松山118番地</p> <p>2. 敷 地 面 積 23244.51 m²</p> <p>3. 建築物概要</p> <table border="1"> <tr> <th>棟 名</th> <th>構 造</th> <th>階 数</th> <th>建築面積 (m²)</th> <th>延べ面積 (m²)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>屋外便所棟</td> <td>RC造</td> <td>1</td> <td>52.39</td> <td>52.39</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>4. そ の 他</p> <p>【2】 適 用 範 圍 現場説明事項書（質疑回答書を含む）、本特記仕様書、図面、標準仕様書に示す範囲とする。 すべての設計図書は相互に補完するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。 上記の標準仕様書とは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成19年版）をいう。（以下、これを「標仕」という。） 本書に特に記載のない事項にあっても、すべて、「標仕」の適用を受けるものとする。</p> <p>【3】 工 事 区 分 設計図書による。 別契約の施工上密接に関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。</p> <p>【4】 工 事 仕 様 1.設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「標仕」のほか別記の適用基準による。 2.項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 3.特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ※印と●印の付いた場合は、共に適用する。※印が抹消された場合は、●印のみ適用する。 4.項目及び特記事項に記載の（ ）内表示番号は「標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p>		棟 名	構 造	階 数	建築面積 (m ²)	延べ面積 (m ²)	備 考	屋外便所棟	RC造	1	52.39	52.39																										<p>④ 特別な材料の工法 ※ 設計図書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。</p> <p>⑤ 化学物質の濃度測定 (1.5.9.) ● 適用しない (危険な化学物質の含まれる材料は使用不可)</p> <p>6 技能士 (1.5.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>工事種別</th> <th>適用する技能士の技能検定における選択作業</th> </tr> <tr> <td>仮設工事</td> <td>○ とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>○ 鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート工事</td> <td>○ 左官作業 ○ 型枠工事作業</td> </tr> <tr> <td>○ コンクリート圧送工事作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>○ とび作業</td> </tr> <tr> <td>ブロックALC[®] 組立工事</td> <td>○ コンクリートブロック工事作業 ○ ALC[®] 組立工事作業</td> </tr> <tr> <td>カーポール工事</td> <td>○ 金属製カーポール工事作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">防水工事</td> <td>○ 777[®]防水工事作業 ○ シール[®]防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>○ クリコ[®]系塗膜防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>○ 合成ゴム系シート防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>○ 塩化ビニル系シート防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>○ 石張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>○ タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>○ 大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>屋根、とい工事</td> <td>○ 内外装板金作業 ○ かわらぶき作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>○ 鋼製下地工事作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>○ 左官作業</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>○ 建築工事作業</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>○ トリム用[®]施工作業 ○ ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内装工事</td> <td>○ グラフ[®]系床仕上げ工事作業 ○ ボード[®]仕上げ工事作業</td> </tr> <tr> <td>○ カーペット系床仕上げ工事作業 ○ 壁装作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>○ 造園工事作業</td> </tr> </table> <p>ただし技能士に代わる者による施工の場合は監督職員の承諾を得ること。</p> <p>※ 適用する (適用事項は、現場説明事項書による) ○ 適用しない</p> <p>⑦ 工事実績情報の登録 (1.1.4)</p> <p>⑧ 発生材の処理等 (1.3.8)</p> <p>○ 引渡しを要するもの ()</p> <p>○ 現場において再利用を図るもの、再生資源化を図るもの ()</p> <p>● 指定副産物の搬出 ● アスファルトコンクリート塊 ● セメントコンクリート塊 ○ 建設発生木材</p> <p>● 指定副産物の処分地 ● 指定地処分 (As: 金下建設 Co: 共栄建設) ○ 自由処分 (最寄りの再生資源化施設へ搬出すること)</p> <p>○ 指定副産物以外の搬出 ※ 構外搬出適切処理</p> <p>○ 特別管理産業廃棄物の処理 ()</p> <p>処理計画書等の提出 ※ 再生資源利用促進計画書、実施書を“CREIDAS入力システム”により作成し、提出用ファイルを作成しFDと共に提出する。 ※ 建設発生土及び建設副産物処理計画書、報告書 を提出する。</p> <p>※ 産業廃棄物管理票（マニフェスト）制度により、適正な処理を行うこと。 ※ 産業廃棄物の処理を委託する場合は、運搬と処分についてそれぞれの許可業者と処理委託料を記載した「処理委託契約書」により委託契約すること。</p> <p>9 発生材の処理等 (777[®]形成板)</p> <p>処理を行う範囲 ※ 図示 (仕上げ表による 床・壁・天井毎に種別を確認) ○ 全ての室 ○ ()</p> <p>施工調査 ※ アスベスト形成板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。 (1) アスベスト形成板使用部位の確認 記載上の形成板及びその使用範囲以外についても監督職員と協議の上確認を行うこと。 (2) アスベスト形成板の種別、厚さ等の確認 (3) アスベスト形成板使用数量の確認 (4) 施工範囲等の確認</p> <p>確認方法 ※ 形成板の製造年等の確認 ○ X線解析法 処理方法 ※ 「非飛散性777[®] 廃棄物の取扱いに関する技術指針」に従い、あらかじめ処理計画書を作成し、適切に解体処分等を行うこと。</p>	工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業	仮設工事	○ とび作業	鉄筋工事	○ 鉄筋組立作業	コンクリート工事	○ 左官作業 ○ 型枠工事作業	○ コンクリート圧送工事作業	鉄骨工事	○ とび作業	ブロックALC [®] 組立工事	○ コンクリートブロック工事作業 ○ ALC [®] 組立工事作業	カーポール工事	○ 金属製カーポール工事作業	防水工事	○ 777 [®] 防水工事作業 ○ シール [®] 防水工事作業	○ クリコ [®] 系塗膜防水工事作業	○ 合成ゴム系シート防水工事作業	○ 塩化ビニル系シート防水工事作業	石工事	○ 石張り作業	タイル工事	○ タイル張り作業	木工事	○ 大工工事作業	屋根、とい工事	○ 内外装板金作業 ○ かわらぶき作業	金属工事	○ 鋼製下地工事作業	左官工事	○ 左官作業	塗装工事	○ 建築工事作業	建具工事	○ トリム用 [®] 施工作業 ○ ガラス工事作業	内装工事	○ グラフ [®] 系床仕上げ工事作業 ○ ボード [®] 仕上げ工事作業	○ カーペット系床仕上げ工事作業 ○ 壁装作業	植栽工事	○ 造園工事作業	<p>⑩ 施工条件 (1.3.5) ※ 現場説明事項書による。</p> <p>⑪ 風圧力及び積雪に対する性能 (8.4.3、8.5.3) (10.5.3) (13.2.3~13.4.3)</p> <p>⑫ 現場代理人</p> <p>⑬ 施工体制台帳等の作成・提出 (1.1.5)</p> <p>⑭ 設備工事との取合い</p> <p>⑮ 施工図等の取扱い (1.2.3)</p> <p>⑯ 工事写真 (1.2.4)</p> <p>⑰ 工事工程報告</p> <p>⑱ 完成図 (1.7.2)</p> <p>⑲ 保全に関する資料 (1.7.3)</p> <p>20 中長期保全計画書</p>	<p>※ 建築基準法に基づき定められた風速及び地表面粗度区分等 風速 (Vo) ※ 3 2 ○ (平成12年5月31日建設省告示第1454号) 地表面粗度区分 ○ I ○ II ● III ○ IV 多雪地域の指定 ※ なし ○ あり</p> <p>※ 本工事の施工にあたっては、請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、請負者と直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任しなければならない。</p> <p>※ 請負者は、請負金額3千万円以上(建築一式工事については4千5百万円以上)の工事について、施工体制台帳(下請契約書等添付)及び施工体系図を作成し、監督職員に提出しなければならない。 ※ 請負者は、工事完成時に、退還共通運営実績報告書を提出しなければならない。</p> <p>施工範囲 ※ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強 ※ 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※ 駆動装置が電動による建具類の二次配線及び操作スイッチ ※ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強</p> <p>施工図 設備機器の位置、取合等の検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>※ 施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲される。</p> <p>※ 工事写真の撮り方(改訂2版)建築編(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)によるほかは監督職員の指示による。 ※ 下記のことを監督職員に提出する。</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>部 数(ネガ1枚につき)</th> <th>分 類 ・ 規 格</th> <th>原版の大きさ (mm)</th> </tr> <tr> <td>着 工 前</td> <td>※ 1 ○</td> <td>※ カラーサービス版</td> <td>※ 24×36以上</td> </tr> <tr> <td>工 事 中</td> <td>※ 1 ○</td> <td>※ カラーサービス版</td> <td>※ 24×36以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">完 成 時</td> <td>屋 内</td> <td>※ 2 ○</td> <td>※ カラーサービス版 ※ 24×36以上</td> </tr> <tr> <td>()箇所</td> <td>○ カラーキャビネ版</td> <td>○ 60×70以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外 観</td> <td>※ 2 ○</td> <td>※ カラーキャビネ版</td> <td>※ 24×36以上</td> </tr> <tr> <td>()箇所</td> <td>○ カラーパネル半切</td> <td>※ 60×70以上</td> </tr> </table> <p>※ デジタル写真の撮影にあたり、完成写真については有効画素数300万画素程度、工事写真は有効画素数130万画素程度とし、黒板の文字等の内容が判読できる精度を確保するものとする。 ※ 完成写真撮影場所は、監督職員の指示による。 ● 完成写真撮影業者は、監督職員の承諾する撮影業者(建築写真専門業者)とする。</p> <p>※ 月報は毎月末日に、翌月5日までに提出する。 ※ 日報は監督職員の指示による。 ※ 週報は毎週 () 曜日に提出する。 曜日は監督職員の指示による</p> <p>※ 作成する (提出部数 ※ 2部 ○ 部) 詳細は監督職員の指示による。 ※ 完成図等の電子データによる提出については、現場説明事項書による。</p> <p>※ 作成する (提出部数 ※ 2部 ○ 部) ○ 作成しない</p> <p>● 敷地、建物の構造規模、主要な設備構成等の建物概要 ● 建物の主要な構造部及び外構についての説明 ● 建物を使用する上での注意事項 ● 建物に設置されている家具、機器等及び部位毎の仕上げの概要説明 ● 建物、工作物、植栽等を管理する上での保全業務の要点 ● 建物等の清掃の要点 ● 主要材料の製造所名、所在地、連絡先、非常時の連絡体制一覧表 建設大臣官房官庁営繕部監修「管理者のための建築物保全の手引き」建築保全「業務共通仕様書」を参考として作成すること。</p> <p>※ 作成する (提出部数 ※ 2部 ○ 部) ○ 作成しない</p>		部 数(ネガ1枚につき)	分 類 ・ 規 格	原版の大きさ (mm)	着 工 前	※ 1 ○	※ カラーサービス版	※ 24×36以上	工 事 中	※ 1 ○	※ カラーサービス版	※ 24×36以上	完 成 時	屋 内	※ 2 ○	※ カラーサービス版 ※ 24×36以上	()箇所	○ カラーキャビネ版	○ 60×70以上	外 観	※ 2 ○	※ カラーキャビネ版	※ 24×36以上	()箇所	○ カラーパネル半切	※ 60×70以上	<p>① 足場その他 (2.2.4) ● 足場は、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省 基準第0424001号)」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式を採用する。</p> <p>2 監督職員事務所 (2.3.1) 規模 ○ 10m程度 ○ 20m程度 ○ 35m程度 ○ 65m程度 ○ 100m程度</p> <p>仕上 床 ○ 合板張り素地 ○ ビーム床シート敷き ○ パンチベットの敷き 内壁・天井 ○ 合板又は石膏ボード張り、合成樹脂エポキシ樹脂塗料塗り 屋根 ○ 塗装溶融亜鉛メッキ鋼板張り ○ 鉄板張り鋼合板塗料塗り 休憩室 ○ 設けられない ○</p> <p>備品 ○ 机 ○ いす ○ 書棚 ○ 黒板 ○ 製図板 ○ 掛時計 ○ 温度計 ○ 消火器 ○ 掃除具 ○ 加入電話機 ○ 懐中電灯 ○ 湯沸器 ○ 冷暖房機器 ○ 〔○ 保護帽 ○ ゴム長靴 ○ 雨がっぱ ○ 衣類locker (入分程度) 〕 ※ 標仕(平成19年版) ※ 建築工事監理指針(平成16年版) ※ 建築工事施工チェックシート ○ 建築工事標準詳細図(平成17年版) ○ 工事写真の撮り方(改訂2版)建築編</p> <p>③ 工事用水 構内既存の施設 ※ 利用できない ● 利用できる (●有償 ○無償)</p> <p>④ 工事用電力 構内既存の施設 ※ 利用できない ● 利用できる (●有償 ○無償) (100Vのみ)</p> <p>⑤ 仮囲い等 ※ 図示 ○</p> <p>⑥ 設計G L ※ 図示 ○ 設計G L = 現状G L</p> <p>① 埋め戻し及び盛土 (3.2.3) ○ A種 砂質土(山砂の類)を水締め又は機器による締固め (表3.2.1) ※ B種 根切り土の中の良質土を機器による締固め ○ C種 他現場の建設発生土の中の良質土を機器による締固め ○ D種 再生コンクリート砂を水締め又は機器による締固め ○ 建設発生土(盛土材)の外部からの受入土量 (m³) 発生場所 ()</p> <p>● 構外指示の受入場所に処分 受入場所 ※ 大迫地内町有地 ○ 事前分析検査 ○ 行う (受入場所指定の検査) ○ 仮置場所 ○ ○ 構内指示の場所に敷き均し ○ 構内指示の場所にたい積 ○ 構外搬出適切処理</p> <p>② 建設発生土の処理 (3.2.5)</p> <p>● 撤去する ・ 外部側溝部分の山留め ○ 在置する</p> <p>③ 山留めの撤去 (3.3.3)</p>	<p>① 基礎種別 ○ 杭基礎 杭の種類、本数等 ※ 構造図による 工法 ※ 構造図による 試験杭 ※ 行う (構造図による) 杭の載荷試験 ○ 行う (構造図による) 継杭溶接部試験 ○ 行う (浸透探傷試験 本) ● 直接基礎 載荷試験 ○ 行う (下記以外は構造図による)</p> <p>2 地盤の載荷試験 ○ 平板載荷試験 試験箇所数 _____ 箇所 (試験位置図示) 設計耐力 _____ kN/m²</p> <p>③ 砂及び砂利地業 厚さ (mm) ※ 図示 ○ 60 材料 ※ 再生クラッシュラン ○ 切込み砂利及び切込み砕石</p> <p>④ 捨てコンクリート地業 厚さ (mm) ※ 図示 ○ 50</p> <p>5 床下防湿層 ※ ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm 重ね幅縦及び基礎梁際のみ込み 250mm以上 施工範囲 ※ 図示 ○ 建物内の土間スラブ(土間コンクリート含む)の直下 (ピット下を除く) ○ 捨てコンクリートの直下</p> <p>6 土間断熱材 ※ 押出法ポリスチレンフォーム3種bのスキン層付き 厚さ ※ 25 mm ○ mm</p> <p>7 地盤改良 ○ 現場発生土を再利用する。 改良方法 ○ ※ セメント及びセメント系固材材を使用した改良土を使用する場合、六価クロム溶出試験を実施し、土壤環境基準を勘案して必要に応じ適切な措置を講ずること。また、再利用しようとする場合は、基準以下であることを確認すること。 ※ 「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」((財)日本建築学会)を参考とすること。</p>
棟 名	構 造	階 数	建築面積 (m ²)	延べ面積 (m ²)	備 考																																																																																																								
屋外便所棟	RC造	1	52.39	52.39																																																																																																									
工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業																																																																																																												
仮設工事	○ とび作業																																																																																																												
鉄筋工事	○ 鉄筋組立作業																																																																																																												
コンクリート工事	○ 左官作業 ○ 型枠工事作業																																																																																																												
	○ コンクリート圧送工事作業																																																																																																												
鉄骨工事	○ とび作業																																																																																																												
ブロックALC [®] 組立工事	○ コンクリートブロック工事作業 ○ ALC [®] 組立工事作業																																																																																																												
カーポール工事	○ 金属製カーポール工事作業																																																																																																												
防水工事	○ 777 [®] 防水工事作業 ○ シール [®] 防水工事作業																																																																																																												
	○ クリコ [®] 系塗膜防水工事作業																																																																																																												
	○ 合成ゴム系シート防水工事作業																																																																																																												
	○ 塩化ビニル系シート防水工事作業																																																																																																												
石工事	○ 石張り作業																																																																																																												
タイル工事	○ タイル張り作業																																																																																																												
木工事	○ 大工工事作業																																																																																																												
屋根、とい工事	○ 内外装板金作業 ○ かわらぶき作業																																																																																																												
金属工事	○ 鋼製下地工事作業																																																																																																												
左官工事	○ 左官作業																																																																																																												
塗装工事	○ 建築工事作業																																																																																																												
建具工事	○ トリム用 [®] 施工作業 ○ ガラス工事作業																																																																																																												
内装工事	○ グラフ [®] 系床仕上げ工事作業 ○ ボード [®] 仕上げ工事作業																																																																																																												
	○ カーペット系床仕上げ工事作業 ○ 壁装作業																																																																																																												
植栽工事	○ 造園工事作業																																																																																																												
	部 数(ネガ1枚につき)	分 類 ・ 規 格	原版の大きさ (mm)																																																																																																										
着 工 前	※ 1 ○	※ カラーサービス版	※ 24×36以上																																																																																																										
工 事 中	※ 1 ○	※ カラーサービス版	※ 24×36以上																																																																																																										
完 成 時	屋 内	※ 2 ○	※ カラーサービス版 ※ 24×36以上																																																																																																										
	()箇所	○ カラーキャビネ版	○ 60×70以上																																																																																																										
外 観	※ 2 ○	※ カラーキャビネ版	※ 24×36以上																																																																																																										
	()箇所	○ カラーパネル半切	※ 60×70以上																																																																																																										
原寸紙サイズ：A 2		京丹波町		決 算 欄		平成21年度(繰越) 松山小学校屋外便所棟新築工事		図 番																																																																																																					
		設計番号		平成 22 年 10 月		特記仕様書(1)		A-02																																																																																																					

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項					
⑤ 鉄筋工事	① 鉄筋の種類 (5.2.1)	(表5.2.1) 異形鉄筋 種類 〇 SD295A D16以下 〇 SD345 D19以上 備考 ※ SD295AはF _o 21以上の場合、壁筋及びスラブ筋に適用する	⑥ コンクリート工事	8 軽量コンクリート (6.11.1)	種別 〇 1種 ※ 2種 施工箇所 _____	⑦ 鉄骨工事	9 溶接部の試験 (7.6.11)	〇 浸透探傷試験 (JIS Z 2343-1) 〇 磁粉探傷試験 (JIS G 0565) ※ 超音波探傷試験 工場溶接 平均出検品質限界 (A0QL) ※ 4.0% 〇 2.5% 検査水準 ※ 第6水準 〇 第 水準 現場溶接 平均出検品質限界 (A0QL) ※ 4.0% 〇 2.5%				
	2 溶接金網 (5.2.2)	網目の形状、寸法 図示 鉄線の径 (mm) 図示		⑨ 型枠 (せき板) (6.9.2) (6.9.3) (6.2.5)	合板の規格 ※ コンクリート型枠用合板の日本農林規格による合板 〇 合板の材種 ※ 複合合板又は針葉樹合板 ● 塗装合板 (化粧型枠コンクリート打放し部分) 厚さ (mm) ※ 12 〇		10 スタッド溶接 (7.7.4)	技能資格者 ※ JASS 6 付則4 [スタッド溶接工技術検定試験] による	⑨ 防水工事	1 アスファルト防水 (9.2.2) (9.2.3)	(表9.2.3)~(表9.2.8) 種 別 防水層 施 工 箇 所 〇 A-1 〇 A-2 表9.2.3 〇 AI-1 〇 AI-2 表9.2.4 ※ B-1 〇 B-2 表9.2.5 〇 BI-1 〇 BI-2 表9.2.6 〇 露出防水 ※ D-1 〇 D-2 表9.2.7 通路屋根 〇 屋内防水 ※ E-1 〇 E-2 表9.2.8 アスファルトの種類 ※ 3種 〇 アスファルトルーフィング ※ 1500 〇	
	③ 鉄筋の継手 (5.3.4)	部 位 接 合 方 法 径 (mm) 重ね継手の長さ ※ 柱・梁の主筋 ※ ガス圧接 〇 重ね継手 D19以上 ※ 標仕表5.3.3 〇 機械式継手 〇 機械式継手 による ※ その他 〇 ガス圧接 ※ 重ね継手 D16以下 〇 別図表による 〇 機械式継手 種類 〇 (工法 〇 ()) 品質確認方法、修正方法等 〇 () 〇 鉄筋先組工法 柱・梁継手位置 ※ 構造図による		打放し仕上げのせき板 (表6.2.3) ※ 合板せき板を用いる場合 種 別 板 面 の 品 質 施 工 箇 所 ● A種 ※6.9.3(b)(1) 〇 〇 B種 ※6.9.3(b)(2) 〇 〇 C種 ※6.9.3(b)(2) 〇 〇 合板せき板を用いない場合 せき板の種類 コンクリート面の仕上げり程度 ※6.2.5(b)(ii) 〇	11 錆止め塗装 (7.8.1) ~(7.8.4) (18.3.3)		耐火被覆材の接する面の錆止め塗装 〇 塗装する (耐火被覆の接着性を確保すること。) ※ 塗装しない	12 耐火被覆 (7.9.2) ~(7.9.2)		耐火被覆材の種類 適用箇所 〇 ラス張りモルタル塗り (一般指定) 〇 図示 〇 〇 耐火材吹付け工法 〇 吹付けロックウール (通則指定) 〇 乾式 〇 半乾式 〇 図示 〇 〇 湿式ロックウール (個別指定) 〇 〇 耐火板張り工法 〇 図示 〇 〇 (通則指定) 〇 (個別指定) 〇 耐火材巻き付け 〇 図示 〇 〇 (通則指定) 〇 (個別指定)	2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2)	(表9.3.1) 種別 施工箇所 種類及び厚さ 仕上塗料 〇 AS-1 〇 〇 ※ 9.3.2 (a)による 〇 カラー 〇 AS-2 〇 〇 〇 シルバー 脱気装置 (絶縁工法の場合) ※ 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/㎡)
	4 鉄筋のかぶり厚さ (5.3.5)	※ かぶり厚さは目地底から算定する。 〇 耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 施 工 箇 所 等 最 小 か ぶ り 厚 さ (mm)		スリープの材種 (表6.9.1) 適用箇所 材 種 (規 格 そ の 他) 水密を要する地中部分等 ※ つば付き鋼管 (JIS G3452 の黒管に厚さ6 mm、 つば幅50mm以上の鋼板を溶接したもの) 水密を要しない地中部分等 ※ 硬質塩化ビニル管 (JIS K6741 のVU) 上記以外の円形スリープ ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 (径200 mm以下は厚0.4 mm 以上、径200 mmを超え350 mm以下は厚0.6 mm以上) 〇	⑩ スリープ (6.9.3)		外部に面する打放し仕上げの打増し厚さ ※ 図示 〇 2 〇	11 アンカーボルト等の設置 (7.10.1) (7.10.2)		アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (表7.10.1) ※ A種 〇 B種 〇 C種 柱底均しモルタルの工法 (表7.10.2) ※ A種 〇 B種	3 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.1) (9.4.2) (9.4.4)	(表9.4.1) 種別 厚 さ (mm) 施 工 箇 所 仕上塗料 〇 S-F1 ※2.2 〇 〇 カラー 〇 S-F2 ※2.0 〇 〇 シルバー 〇 S-M1 ※2.5 〇 〇 〇 S-M2 ※2.5 〇 〇 〇 S-M3 ※2.2 〇 〇 (露出の場合)
	5 圧接完了後の試験 (5.4.9)	試験方法 ※ 超音波探傷試験 〇 引張試験		スリープの品質・規格 _____	11 耐震スリット		方向 タイ プ 耐 火 性 能 防 水 性 能 〇 垂直方向 ※ 完全 (全貫通型) スリット 〇 耐火型 〇 有り 〇 水平方向 〇 せん断型部分スリット 〇 非耐火型 〇 無し 〇	12 耐火被覆 (7.9.2) ~(7.9.2)		所要性能 構 造 区 分 適 用 範 囲 〇 30分 〇 屋根 〇 外壁 〇 〇 1時間 〇 柱梁 〇 天井 〇 外壁 〇 床 〇 2時間 〇 柱梁 〇 天井 〇 床 〇 3時間 〇 柱梁 〇	4 改質アスファルトシート防水 (9.3.2)	(表9.3.1) 種別 施工箇所 種類及び厚さ 仕上塗料 〇 AS-1 〇 〇 ※ 9.3.2 (a)による 〇 カラー 〇 AS-2 〇 〇 〇 シルバー 脱気装置 (絶縁工法の場合) ※ 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/㎡)
⑥ コンクリート工事	① コンクリートの強度 (6.1.4) (6.2.1) (6.2.3)	設計基準強度 (F _c) 打 設 部 位 F _c (N/mm ²) スランプ (cm) 備 考 基礎 ※ 21 〇 ※ 15 〇 18 上部 ※ 21 〇 〇 15 ※ 18 土間コンクリート ※ 21 〇 ※ 15 〇 18 側溝・犬走り 捨コンクリート ※ 18 〇 ※ 15 〇 18 軽量コンクリート ※ 21 〇 ※ 15 〇 18 無筋コンクリート ※ 18 〇 ※ 15 〇 18 標仕6.14.11による ※ 構造体コンクリートの発注強度は以下のとおりとする。 [F _c + 3 + コンクリート強度の気温による補正值] N/mm ²	⑦ 鉄骨工事	1 鉄骨の製作工場 (7.1.3)	鉄骨の製作工場の加工能力等 〇 指定性能評価機関による工場認定のグレードが下記以上の工場 〇 J 〇 R 〇 M 〇 H 〇 S (監視指針 表7.1.2) 〇 下記の基準を満足する工場 ・ 下向溶接 手溶接技能者 〇 A-2F 〇 A-3F 〇 () 半自動溶接技能者 〇 SA-2F 〇 SA-3F 〇 () ・ 横向溶接 手溶接技能者 〇 A-2H 〇 A-3H 〇 () 半自動溶接技能者 〇 SA-2H 〇 SA-2H 〇 () 〇 建築鉄骨製品検査技術者 〇 建築鉄骨超音波検査技術者 ・ 鉄骨製作管理技術者 〇 1級 〇 2級 〇 () ・ 〇 監督職員の承諾する工場 施工管理技術者の適用 〇 適用する 〇 適用しない	11 アンカーボルト等の設置 (7.10.1) (7.10.2)	アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (表7.10.1) ※ A種 〇 B種 〇 C種 柱底均しモルタルの工法 (表7.10.2) ※ A種 〇 B種	5 漏れ試験 (9.5.3)		水張り試験を行う (〇 屋内 〇 屋外)		
	② レディ-ミクストコンクリートの類別等 (6.1.5)	レディ-ミクストコンクリートの類別 (表6.1.1) ※ I類 〇 II類		2 鋼材の材質 (7.2.1)	種類の記号 使用箇所 規格等 SS400 STK400 ※ 図示による	3 高力ボルト (7.2.2) (7.4.2)	ボルトの種類 ※ トルサン形高力ボルト (建築基準法の認定品) 〇 JIS型高力ボルト 〇 溶融亜鉛メッキ高力ボルト (建築基準法の認定品) すべり係数試験 〇 実施する 〇 しない	3 ALCパネル (8.4.2) ~(8.4.5)	パネルの種類 (表8.4.3)(表8.4.4) 種 類 単位荷重 (N/㎡) 厚 さ (mm) 取付け工法 (種別) 〇 外壁用 ※80 〇80 ※100 〇 〇 A ※ B 〇 C 〇 間仕切用 ※640 〇 ※100 〇 〇 B ※ C 〇 D 〇 E 〇 屋根用 ※980 〇 ※100 〇 ※ 標仕8.4.6 による 〇 床用 〇250 〇300 〇100 〇150	6 保証書 (9.5.3)	※ 請負業者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。 (保証年限は工事目的物引渡しより10年間以上とする。)	
	③ セメントの類別 (6.3.2)	※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA 〇 高炉セメントのB種		4 ターンバックル (7.2.6)	鋼の種類 ※ 割棒式 〇 バイブ式 ボルトの種類 ※ 羽子板ボルト 〇 両ねじボルト 〇 アイボルト	6 工作図 (7.3.2)	高力ボルト、普通ボルトのゲージ、ピッチ、りあき等 ※ 図示による (図に無い場合は鉄骨設計基準による)	4 押出成形セメント板 (8.5.2)	種類 ※ 無石綿タイプ (タイプII) 施工箇所 表 面 形 状 厚 さ (mm) 工 法 耐 火 性 能 〇 外壁 ※ フラットパネル 〇5 〇 A種 ※ 有り 〇 デザインパネル(図示) 〇3 〇 B種 (時間) 〇 タイルベースパネル 〇3 〇 〇 無し 〇 間仕切り ※ フラットパネル 〇5 〇 B種 〇 有り 〇 デザインパネル(図示) 〇3 〇 C種 (時間) 〇 タイルベースパネル 〇3 〇 ※ 無し	7 シーリング (9.6.2)	シーリング材の種類 ※ 表9.6.1による	
	④ 骨材 (6.3.3)	粗骨材 ※ 砂利 (JIS A5308)、砕石 (JIS A5005) 〇 高炉スラグ 〇 電気炉酸化スラグ 細骨材 ※ 砂 (JIS A5308)、砕砂 (JIS A5005) 〇 高炉スラグ 〇 電気炉酸化スラグ 〇 銅スラグ 〇 フェロニカルスラグ アルカリシリカ反応性による区分 ※ A (無害) 〇		7 鉄骨の製作精度 (7.3.3)	※ (社)日本建築学会 [建築工事標準仕様書6鉄骨工事付則6.鉄骨精度検査基準] による 〇	8 仮組 (7.3.10)	〇 実施する 部位 () 〇 実施しない	9 シーリングの試験 (9.6.5)	※ 簡易接着性試験 (部位) 〇 引張接着性試験 (部位)			
	⑤ 混和材料 (6.3.5)	混和剤 ※ AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤のI種 (JIS A6204) 混和材 ※ フライアッシュ (JIS A6201) I種又はII種、高炉スラグ微粉末 (JIS A6206) 又は膨張剤 (JIS A6202)		7 コンクリートの試験 (6.10.2) ~(6.10.6)	※ フレッシュコンクリートの試験 ※ コンクリートの強度試験 〇 材料試験			10 止水板 (9.6.3)	材質 _____ 形状 〇 差込式 ● 据置式 〇 壁張り式 適用範囲 _____			
	⑥ コンクリート強度の気温による補正 (6.4.5)	※ コンクリート強度の気温による補正值は下表による。(表6.4.1) 予想平均気温 (°C) 補正值 (T) 期 普通 早強 (T) 南部地域 中部地域 北部地域 8以上 5以上 3 3/6~4/10 3/11~4/15 3/11~4/20 16未満 15未満 N/mm ² 10/16~11/15 10/6~11/5 10/1~10/31 3以上 2以上 6 11/16~3/5 11/6~3/10 11/1~3/10 8未満 5未満 N/mm ² 南部地域 (京都市(一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村) 北部地域 (宮津市、旧加悦町以北の市町) 中部地域 (上記以外の市町) ※ 予想平均気温が上表に示す予想平均気温未満の場合には標仕第6章第12節 (寒中コンクリート) による。										

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
②③ ユニット及びその他の工事	1 家具、ユニット等の揮発性有機化合物対策	②③ ユニット及びその他の工事	11 ブラインド (20. 2. 12)	②③ 舗装工事	31 車止め	②③ 舗装工事	7 ブロック系舗装 (22. 8. 3)
	2 鋼製床組 (20. 2. 1)	12 ロールスクリーン (20. 2. 13)	32 フェンス		8 緑石 (22. 9. 2)		
	3 可動間仕切 (20. 2. 3)	13 カーテン (20. 2. 14)	① 排水管 (21. 2. 1) (21. 2. 3)		9 砂利敷き (22. 10. 1) (22. 10. 2)		
	4 移動間仕切 (20. 2. 4)	14 カーテンレール (20. 2. 14)	② 側塊、排水樹及ふた (21. 2. 2)		10 白線引き (22. 10. 2)		
	⑤ トイレブース (20. 2. 5)	15 ブラインドボックスカーテンボックス	③ グレーチングふた (調整用)		①② グランドの整地		
	6 階段滑り止め (20. 2. 6)	16 くつきマット	● グレーチングふた (調整用)		②③ 植栽工事及び屋上緑化工事		
	7 階段手すり	17 鋼製書架及び棚	● 既存コンクリート側溝のコンクリート撤去後、垂鉛ワイヤー「レーチング」(高さ調整用)溝幅300mm/スリット「タイプ」多目的便所の床に溝幅100mm/スリット「細目」/スリット「タイプ」受け付付				1 植栽基盤整備 (23. 2. 2) (23. 2. 3)
	8 黒板及びホワイトボード (20. 2. 8)	18 収納家具(木製)	● 既存コンクリート側溝のコンクリート撤去後、垂鉛ワイヤー「レーチング」(高さ調整用)溝幅300mm/スリット「タイプ」多目的便所の床に溝幅100mm/スリット「細目」/スリット「タイプ」受け付付				2 樹木の種類等 (23. 3. 2)
	9 鏡 (20. 2. 9)	19 掲示板	● 既存コンクリート側溝のコンクリート撤去後、垂鉛ワイヤー「レーチング」(高さ調整用)溝幅300mm/スリット「タイプ」多目的便所の床に溝幅100mm/スリット「細目」/スリット「タイプ」受け付付				3 支柱材、幹巻き用材料 (23. 3. 2)
	⑩ 表示・標識 (20. 2. 10) (20. 2. 11)	20 カウンター	● 既存コンクリート側溝のコンクリート撤去後、垂鉛ワイヤー「レーチング」(高さ調整用)溝幅300mm/スリット「タイプ」多目的便所の床に溝幅100mm/スリット「細目」/スリット「タイプ」受け付付				4 芝 (23. 4. 2) (23. 4. 3)
	21 洗面カウンター	● 既存コンクリート側溝のコンクリート撤去後、垂鉛ワイヤー「レーチング」(高さ調整用)溝幅300mm/スリット「タイプ」多目的便所の床に溝幅100mm/スリット「細目」/スリット「タイプ」受け付付	5 新植、移植樹木、芝等の枯補償 (23. 3. 4~7)				
	22 流し台ユニット	● 既存コンクリート側溝のコンクリート撤去後、垂鉛ワイヤー「レーチング」(高さ調整用)溝幅300mm/スリット「タイプ」多目的便所の床に溝幅100mm/スリット「細目」/スリット「タイプ」受け付付	6 屋上緑化				
	23 非常用救助袋等	● 既存コンクリート側溝のコンクリート撤去後、垂鉛ワイヤー「レーチング」(高さ調整用)溝幅300mm/スリット「タイプ」多目的便所の床に溝幅100mm/スリット「細目」/スリット「タイプ」受け付付	⑦ 既存樹木				
	24 鍵箱	● 既存コンクリート側溝のコンクリート撤去後、垂鉛ワイヤー「レーチング」(高さ調整用)溝幅300mm/スリット「タイプ」多目的便所の床に溝幅100mm/スリット「細目」/スリット「タイプ」受け付付					
	25 定礎	● 既存コンクリート側溝のコンクリート撤去後、垂鉛ワイヤー「レーチング」(高さ調整用)溝幅300mm/スリット「タイプ」多目的便所の床に溝幅100mm/スリット「細目」/スリット「タイプ」受け付付					
	26 旗竿受金物	● 既存コンクリート側溝のコンクリート撤去後、垂鉛ワイヤー「レーチング」(高さ調整用)溝幅300mm/スリット「タイプ」多目的便所の床に溝幅100mm/スリット「細目」/スリット「タイプ」受け付付					
	27 旗ポール	● 既存コンクリート側溝のコンクリート撤去後、垂鉛ワイヤー「レーチング」(高さ調整用)溝幅300mm/スリット「タイプ」多目的便所の床に溝幅100mm/スリット「細目」/スリット「タイプ」受け付付					
	28 煙突ライニング (20. 2. 11)	● 既存コンクリート側溝のコンクリート撤去後、垂鉛ワイヤー「レーチング」(高さ調整用)溝幅300mm/スリット「タイプ」多目的便所の床に溝幅100mm/スリット「細目」/スリット「タイプ」受け付付					
	29 間知石及びコンクリート間知ブロック (20. 4. 2) (20. 4. 3)	● 既存コンクリート側溝のコンクリート撤去後、垂鉛ワイヤー「レーチング」(高さ調整用)溝幅300mm/スリット「タイプ」多目的便所の床に溝幅100mm/スリット「細目」/スリット「タイプ」受け付付					
	30 敷地境界石標	● 既存コンクリート側溝のコンクリート撤去後、垂鉛ワイヤー「レーチング」(高さ調整用)溝幅300mm/スリット「タイプ」多目的便所の床に溝幅100mm/スリット「細目」/スリット「タイプ」受け付付					



原寸紙サイズ：A2	京丹波町		決 裁 欄	町長	副町長	参事	主管課長	検算	設計	工事名	平成21年度（繰越）桧山小学校屋外便所棟新築工事	図 番
	設計番号	平成 22 年 10 月									図名	付近見取図



S48年敷地面積

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
A	32.920	15.551	511.938920	255.9694600
B	39.536	10.194	403.029984	201.5149920
C	49.427	8.740	431.991880	215.9959900
D	62.097	14.199	881.715303	440.8576515
E	75.696	11.610	878.830560	439.4152800
F	120.921	7.895	954.671295	477.3356475
G	94.191	10.256	966.022896	483.0114480
H	111.529	8.279	923.348591	461.6742955
I	111.529	15.378	1,715.092962	857.5464810
J	147.670	62.191	9,183.744970	4,591.8724850
K	121.084	35.277	4,271.480268	2,135.7401340
L	128.544	18.291	2,351.198304	1,175.5991520
M	35.691	0.434	15.488994	7.7449470
N	147.670	52.485	7,750.459950	3,875.2299750
O	20.319	3.150	64.004650	32.0024250
合計				15,651.5103635
S48年敷地面積				15,651.51 m ²

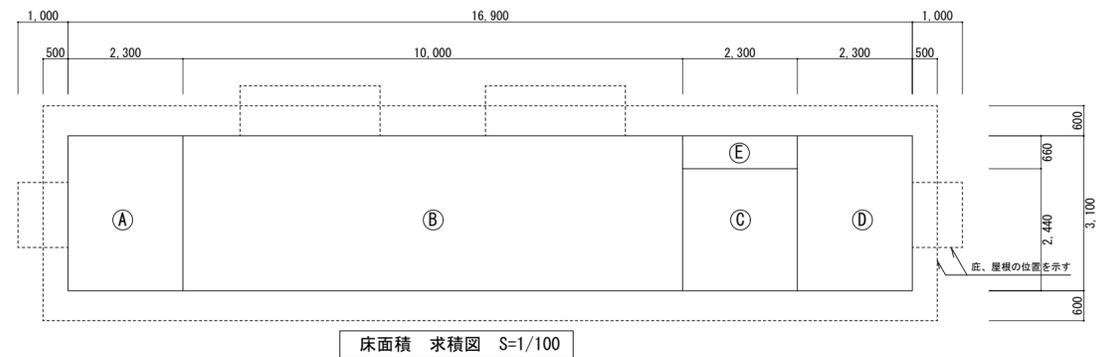
計画敷地面積

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	10.044	7.523	75.561012	37.7805060
2	22.991	10.436	239.934076	119.9670380
3	83.836	8.880	744.463680	372.2318400
4	91.543	6.846	626.703378	313.3516890
5	7.913	0.189	1.495557	0.7477785
6	87.061	6.253	544.392433	272.1962165
7	11.686	2.885	33.714110	16.8570550
8	87.951	1.598	140.545698	70.2728490
9	75.579	4.419	333.983601	166.9918005
10	8.991	0.368	3.308688	1.6543440
11	92.058	8.605	792.159090	396.0795450
12	8.853	0.136	1.204008	0.6020040
13	65.215	7.264	473.721760	236.8608800
14	54.277	3.619	196.429463	98.2142315
15	75.579	14.317	1,082.064543	541.0322715
16	50.978	12.440	634.166320	317.0831600
17	91.543	9.931	909.113533	454.5567665
18	92.058	51.069	4,701.310002	2,350.6550010
19	39.631	7.383	292.595673	146.2978365
20	89.863	12.157	1,092.464491	546.2324455
21	60.592	7.096	429.960832	214.9804160
22	38.621	14.364	554.752044	277.3760220
23	43.412	8.461	367.308932	183.6544660
24	29.790	17.326	516.141540	258.0707700
25	29.790	12.912	384.648480	192.3242400
26	24.243	0.572	13.866996	6.9334980
合計				7,593.0044700
計画敷地面積				7,593.00 m ²

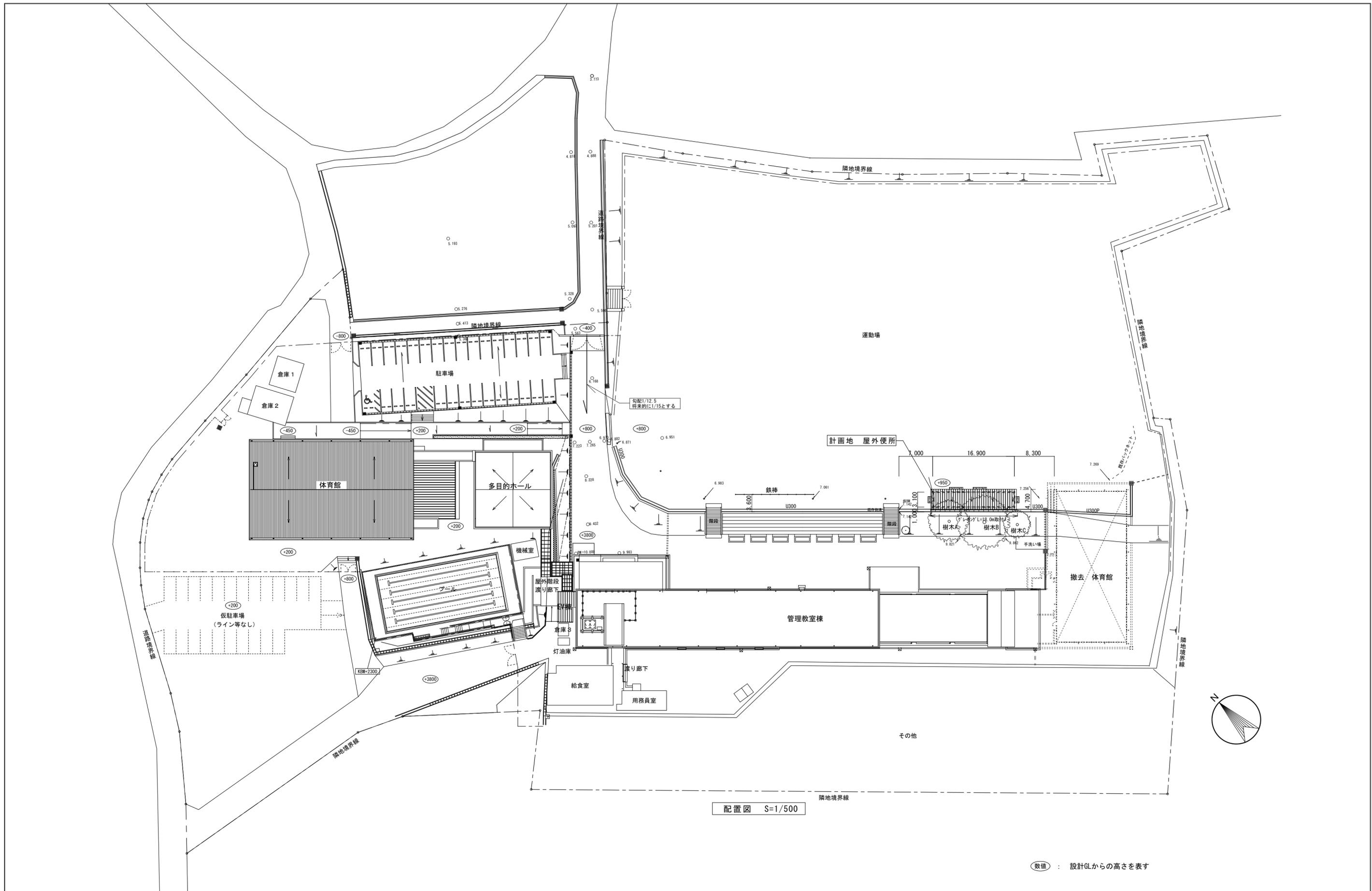
S48年敷地面積	15,651.51 m ²
計画敷地面積	7,593.00 m ²
敷地面積合計	23,244.51 m ²

外部仕上げ表							
勾配屋根	均しモルタルの上アスファルト-フィング 22kg品、ガリハリウム鋼板t=0.4 1.5寸勾配 縦ハセ葺き 吊子-プラスチック止め (MAX KENZO棟、EROOF棟、元旦ヒューテ-工業棟同等) 雪止め用ステンレスL-30x30取付 水下にL=1mを千鳥に設置	軒天井 多目的便所踏込部	ケイカル板t=5mm底目 EP塗装 軽天地下 フクビ底目廻縁：EP塗装	スチールサッシ 男子女子便所	網入型板ガラスt=6.8mm ガラリ 外：シリンダー 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 レバーハンドル 内：サムターン	各便所のビクトグラム	男子便所、女子便所表示、身障者表示ビクトグラム 200角タイル埋込 (サイントタイル200角 INAX同等)
庇屋根	均しモルタルの上アスファルト-フィング 22kg品、ガリハリウム鋼板t=0.4 1.0寸勾配 縦ハセ葺き 吊子-プラスチック止め (MAX KENZO棟、EROOF棟、元旦ヒューテ-工業棟同等)	多目的便所踏込床 多目的便所	RC下地 磁器質100角タイル ニューハイア7-100 (INAX同等) 視覚障害者用150角床タイル (位置表示型) INAX同等)	スチールサッシ 倉庫	両開きフラッシュ戸 フランス落シ レバーハンドル 外：シリンダー 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 内：-	コーナート	L-65x65 t=16 スチール下地 軟質塩化ビニール グレー色 躯体に埋込 アンカ止め 建物前の両角の腰部分の保護用
外壁	化粧型枠コンクリート打放し撥水剤塗布 (型枠は塗装合板使用) 腰部分は15mm横目地切 濡れ色にならないもの撥水剤 (ウレキンス：東亜貿易、ケミストップ：三井化学 同等)	ポーチ床 倉庫、男子女子便所	RC下地 モルタルコテ押エ	スチールサッシ 多目的便所	上吊り片引き扉 ガラリ 型板ガラス 外：シリンダー 引き棒 自動閉鎖 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 内：鍍銀	グレーチング 取替	置き式 亜鉛メッキ ノスリフ 細目タイル W=400 L=18m 既存のコンクリート側溝、コンクリート蓋をグレーチングに取替 (カネワ棟同等)
庇(躯体)	化粧型枠コンクリート打放し撥水剤塗布 (型枠は塗装合板使用) 濡れ色にならないもの撥水剤 (ウレキンス：東亜貿易、ケミストップ：三井化学 同等)	外壁男女色分け用 タイル	150角タイル埋込 (INAX7カラーイグ同等) 女子壁：233ピッチ 男子壁：263ピッチ セメント目地：濃いグレー	アルミサッシ	ジャロジーアルミサッシ (ステッカー)	換気パイプ	天井換気パイプ 100φアルミ製 防虫網付 (設備) 天井扇用換気パイプ 100φアルミ製 (設備)
軒天井(躯体)	化粧型枠コンクリート打放し撥水剤塗布 (型枠は塗装合板使用) 濡れ色にならないもの撥水剤 (ウレキンス：東亜貿易、ケミストップ：三井化学 同等)	ガラスブロック	ガラスブロック115角 セメント目地 (ターコザレー) アルミ枠 (NEG同等)	表示板取付 (身障者用)	表示板取付 (多目的便所入口前壁)-----一つの表示板にまとめる事 平面配置案内、点字説明表示 (平面案内の上に透明アクリル板点字表示) オストメイト設置表示、男女共用表示のビクトグラム		
備考	* 屋根スラブ下：断熱材 木織セメント板30mm打込 モケンN不燃 (神戸不燃板工業株式会社同等) * 既存樹木A、Bの一部の枝切の事。		* 断熱材 木織セメント板30mm打込 モケンN不燃 (神戸不燃板工業株式会社同等) * 係員にパネル割を提出し、了解をえて、コンクリート打とする。 * コンクリート打の失敗を補修で済まさない事。(失敗と見なされた場合は打直しも考慮する事。) * 化粧コンクリート打放しの現場経験のある人を付ける事。		* 型枠の水抜きの多いとこがシヤカができるので、コンクリート打ちの前に、散水してチェックの事。 * スランプはムヤミおとさない事。おとすとクラックのもとである。		

内部仕上げ表											
階	室名	床	下地	巾木	壁	下地	天井	下地	廻縁	天井高	備考 《 》内は設備、電気工事
1階	男子便所	一般：磁器質モザイクタイル50角 (INAX7レン50同等) 一部：身障者用床タイル150角 位置表示型 (INAX身障者床タイル同等)	土間コンクリート		腰壁：半磁器タイル100角 セメント目地 (ミステイセラミック INAX同等) 壁：化粧型枠コンクリート打放シ	コンクリート下地	ケイカル板t=5底目 EP塗装	LGS下地	フタビ廻り縁 EP塗装	H = 2,500	・トイレ：トイレット (タミン化粧板TB-AP小松カール同等) ・額縁：木製EGP 見付25 ・腰見切：木製H=35 EPG塗装 ・天板：白御影本磨きt=35mm ・配管用CB100積 ・洗面器L250DM ・立形水石入れTS126ADR ・小便器用指34φ：T113BU2 ・自動単水洗TEN41AX ・化粧鏡 ・大便器用指34φ：T113BL10 ・洋風便器CS469 ・暖房便座 ・排水目皿 ・天井扇 遅れスイッチ ・2連紙巻き器
	女子便所	一般：磁器質モザイクタイル50角 (INAX7レン50同等) 一部：身障者用床タイル150角 位置表示型 (INAX身障者床タイル同等)	土間コンクリート		腰壁：半磁器タイル100角 セメント目地 (ミステイセラミック INAX同等) 壁：化粧型枠コンクリート打放シ	コンクリート下地	ケイカル板t=5底目 EP塗装	LGS下地	フタビ廻り縁 EP塗装	H = 2,500	・トイレ：トイレット (タミン化粧板TB-AP小松カール同等) ・額縁：木製EGP 見付25 ・腰見切：木製H=35 EPG塗装 ・天板：白御影本磨きt=35mm ・配管用CB100積 ・洗面器L250DM ・立形水石入れTS126ADR ・和便器用指34φ：T113Bの縦1000横400 ・自動単水洗TEN41AX ・化粧鏡 ・大便器用指34φ：T113BL10 ・洋風便器CS469 ・和風便器C755VU 縦と横に取付 ・暖房便座 ・パブリック用流しSK22A ・排水目皿 ・天井扇 長時間タイマースイッチ ・2連紙巻き器
	多目的便所	一般：磁器質モザイクタイル50角 (INAX7レン50同等)	土間コンクリート		腰壁：半磁器タイル100角 セメント目地 (ミステイセラミック INAX同等) 壁：化粧型枠コンクリート打放シ	コンクリート下地	ケイカル板t=5底目 EP塗装	LGS下地	フタビ廻り縁 EP塗装	H = 2,500	・床排水：溝幅100mmステンレスグレーチング 細目ノスリフ 受枠付 溝深さ50mm 防水モザ ・腰見切：木製H=35 EPG塗装 ・天板：白御影本磨きt=35mm ・額縁：木製EGP 見付25 ・配管用CB100積 ・衣服掛け ・腰掛便器用指47φブロック34φ：T113HK7 ・電気温水器、シンクシンク混合水栓 ・腰掛便器用指L型34φ：T113BL10 ・洗面器L260CM ・自動単水洗TEN41AX ・立形水石入れ ・自動バルブユニット ・紙巻き器 ・化粧鏡 ・オストメイト対応トイレ ユーティラス64LDPB ・天井扇 遅れスイッチ
	倉庫	モルタルコテ押エ目地切仕上げ 目地@2m	土間コンクリート		壁：化粧型枠コンクリート打放シ	コンクリート下地	断熱材：木織セメント板30mm打込化粧仕上げ モケンN不燃 (神戸不燃板工業株式会社同等)	RC打込		H = 2,900 ~3,400	・額縁：木製EGP 見付25 ・塩ビ製レシー
特記事項											法規制内容



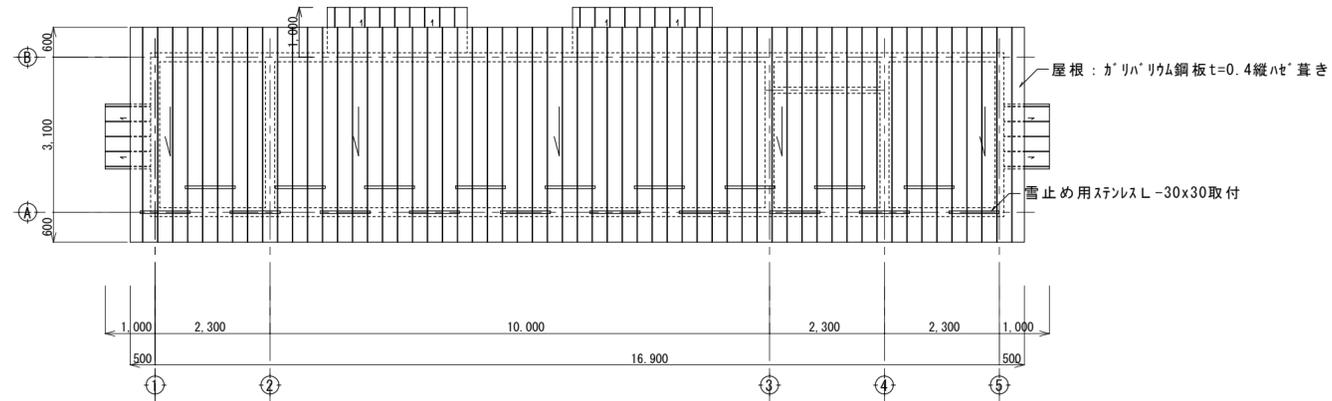
床面積算定式					
①	2,300	X	3,100	=	7.13
②	10,000	X	3,100	=	31.00
③	2,300	X	2,440	=	5.61
④	2,300	X	3,100	=	7.13
⑤	2,300	X	0.66	=	1.52
合計	16,900	X	3,100	=	52.39㎡



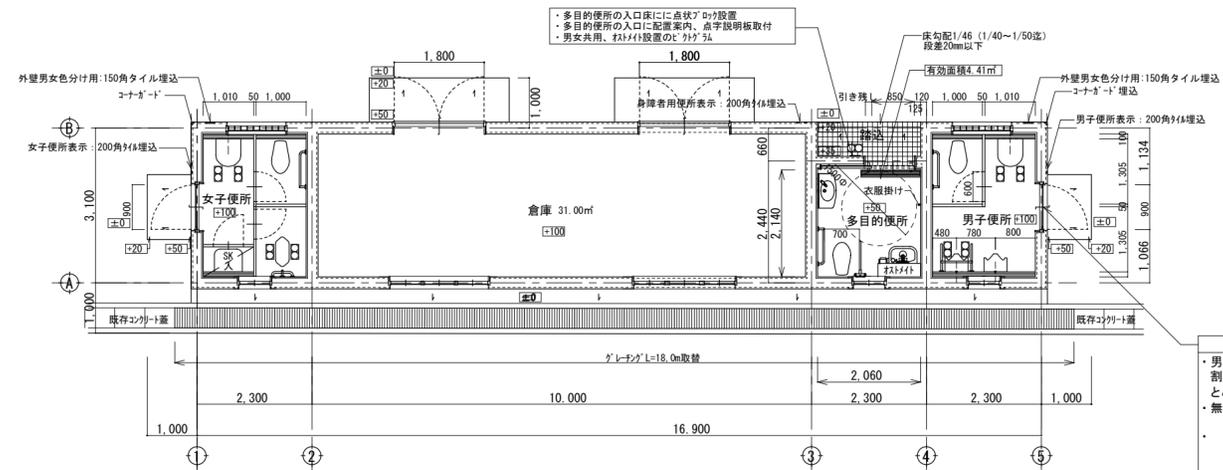
配置図 S=1/500

数値 : 設計GLからの高さを表す

原寸紙サイズ : A 2	京丹波町		決 裁 欄	町長	副町長	参事	主管課長	検算	設計	工事名	平成21年度(繰越) 松山小学校屋外便所棟新築工事		図 番
	設計番号	平成 22 年 10 月									図名	配置図	縮尺 A2 S=1/500 A3 S=1/704



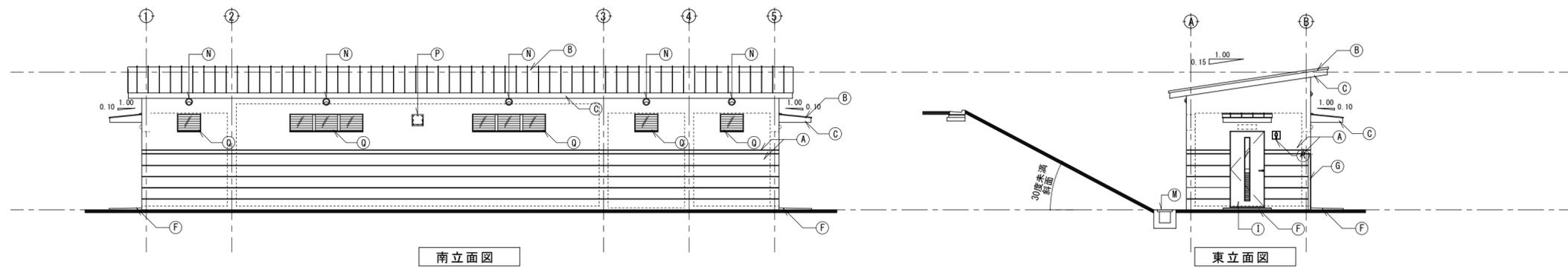
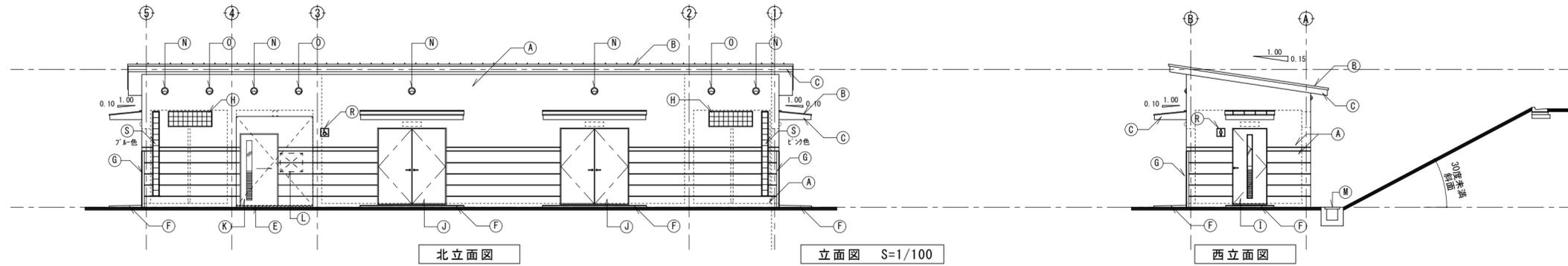
屋根平面図 S=1/100



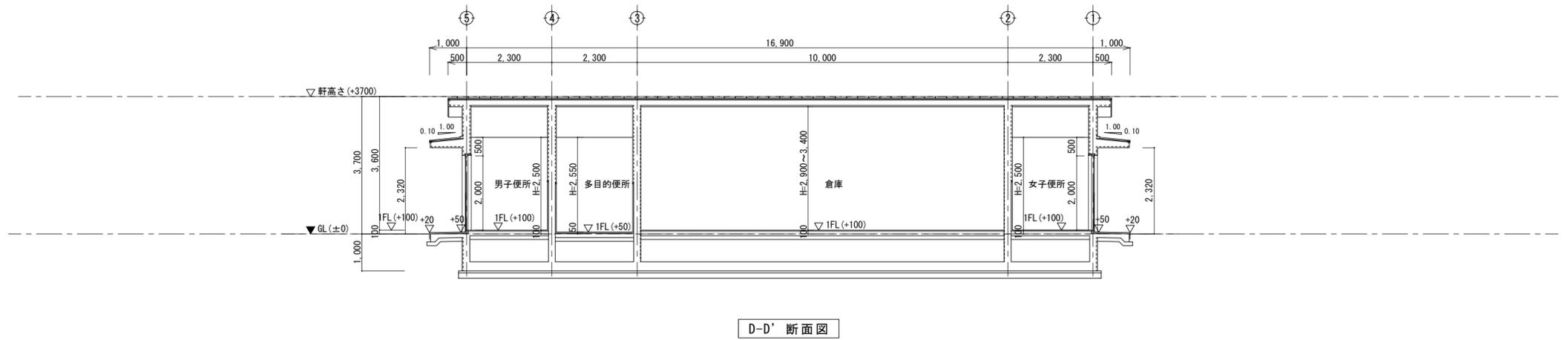
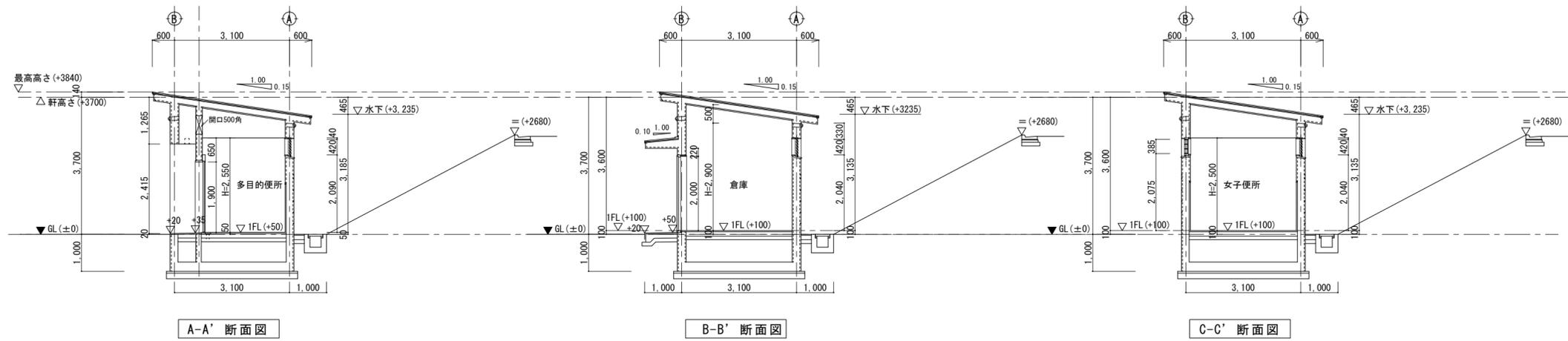
消防の有窓階、無窓階について
 ・男子便所、女子便所のドアについて 網入 $t=6.8\text{mm}$ 以下までなら、割って内部の栓が錠の解錠出来るので、このドアは有効開口部とみなす。(消防との打合せによる)
 ・無窓階なら、誘導灯、消火器が必要。有窓階なら、不要。
 床面積 必要開口面積 引き戸 引き戸
 ・ $52.39\text{m}^2 \times 1/30 = 1.746\text{m}^2 < \frac{5.215}{3} = (0.9 \times 2.0 \times 2\text{m}) + 0.85 \times 1.9$
 *上記により、有窓階である。

平面図 S=1/100 52.39㎡

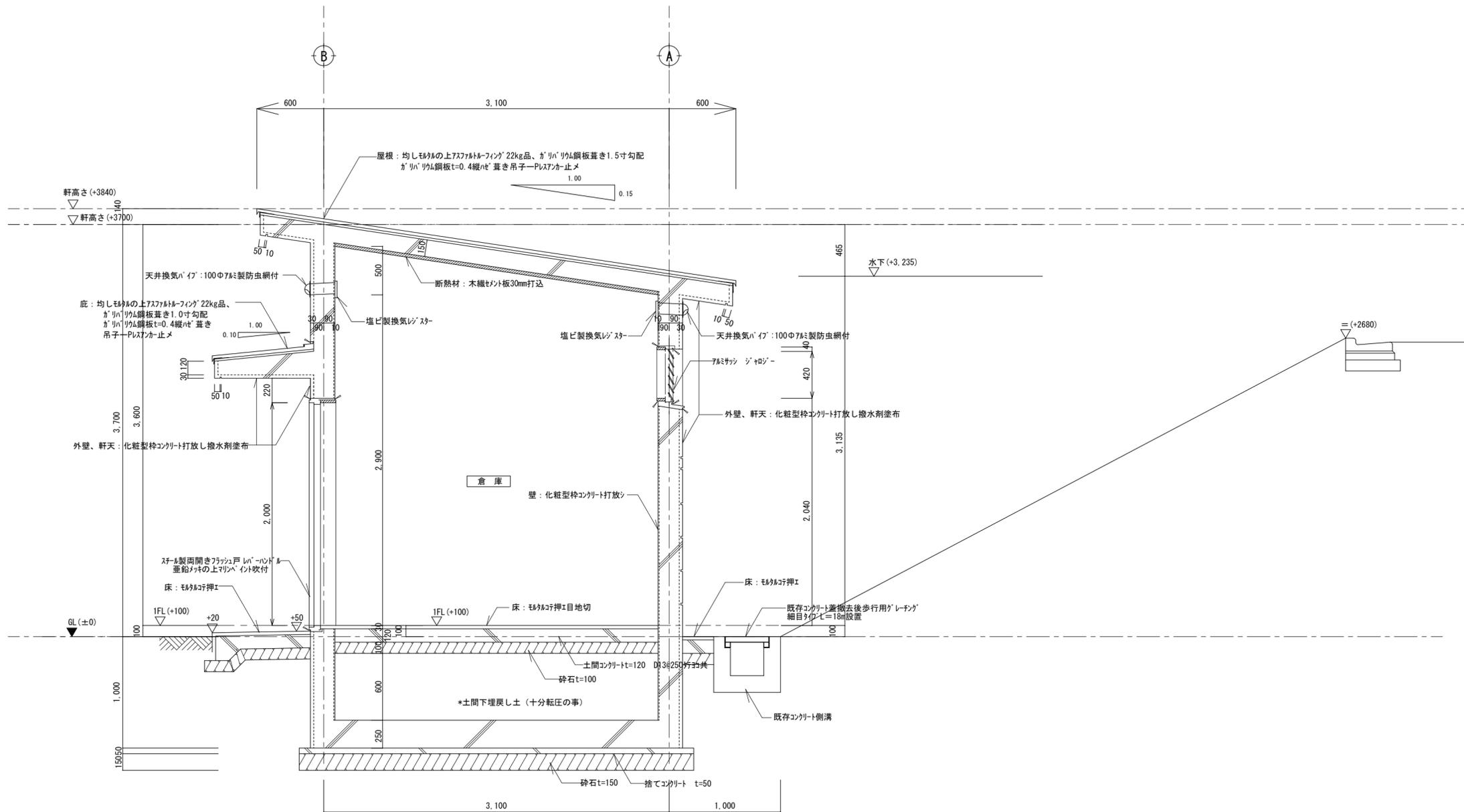
原寸紙サイズ: A2	京丹波町				決裁欄	町長	副町長	参事	主管課長	検算	設計	工事名	平成21年度(繰越) 松山小学校屋外便所棟新築工事		図番
	設計番号	平成 22 年 10 月											平面図	縮尺	A2 S=1/100 A3 S=1/141



外部 仕上 表	(A)	外壁：化粧型枠コンクリート打放し撥水剤塗布 腰部分は15mm横目地切 濡れ色にならないもの撥水剤	(D)	多目的便所前 踏込軒天：ケイ化板t=5mm底目 EPO-ラー (ダークグレー)	(I)	スチール製 網入型板ガラスt=6.8mm ガラス 垂鉛付付銅板 焼付塗装 外：シリカ 内：ステン	(M)	既存コンクリート蓋撤去後歩行用グレーチング 細目タイプ L=18m設置	(R)	男子便所、女子便所表示、身障者表示の付いた 200角タイル埋込 (INAXタイル同等) セント目地：濃いグレー
	(B)	屋根：均しモルタルの上7スفالトルフィンク 22kg品の上 ガラス鋼板葺きt=0.4 緩衝 葺き 吊子-プラスチック止め 雪止め用ステンレスL型アンクル取付	(E)	多目的便所踏込床：磁器質100角タイル	(J)	スチール製 面開きフラッシュ 垂鉛付付銅板 焼付塗装 外：シリカ 内：ステン	(N)	天井換気パイプ 100φ7ä製 防虫網付	(S)	外壁男女色分け用150角タイル埋込(INAX7ä等) 女子壁：233ä 男子壁：263ä セント目地：濃いグレー
	(C)	屋根、庇、軒天の躯体：化粧型枠コンクリート打放し撥水剤塗布	(F)	倉庫、男子女子便所 木子床：モルタル押入	(K)	スチール製 上吊り片引き扉 型板ガラス 引き棒 自動開鎖 垂鉛付付銅板 焼付塗装 内：鏡板	(O)	天井扇用換気パイプ 100φ7ä製 (設備)		
			(G)	コーナーボード：L-65x65軟質塩化ビニール (グレー)	(L)	表示板取付 (多目的便所入口前壁) 一つの表示板にまとめる事 平面配置案内、点字説明表示 (平面案内の上に通明板点字表示) おけ付設置表示、男女共用表示の付いた付	(P)	壁換気扇用フード(設備)		
		(H)	ガラスブロック115角 セント目地 7ä枠			(Q)	7äスチール シェード			

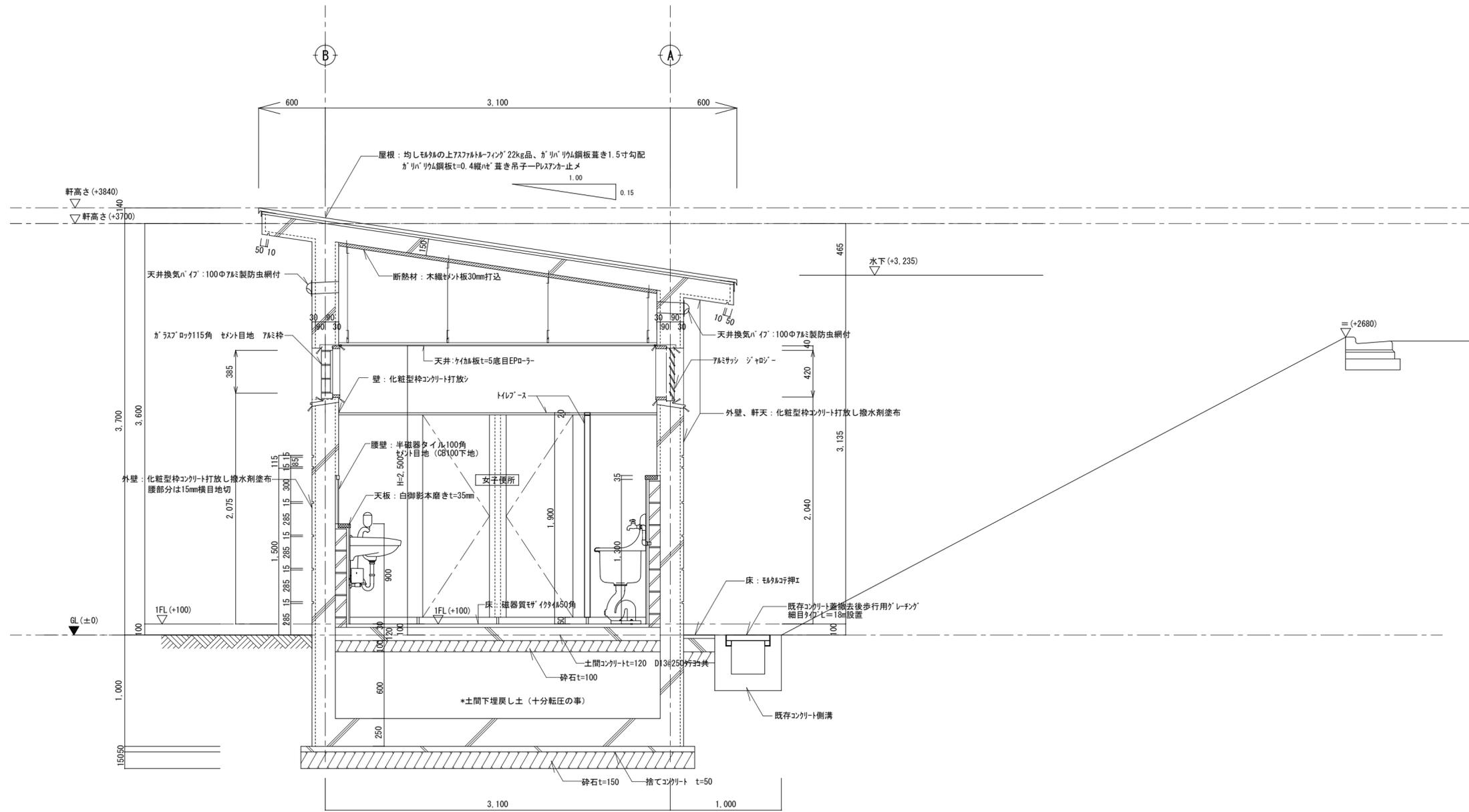


原寸紙サイズ：A2	京丹波町		決裁欄	町長	副町長	参事	主管課長	検算	設計	工事名	平成21年度（繰越）松山小学校屋外便所棟新築工事	図番
	設計番号	平成 22 年 10 月										断面図



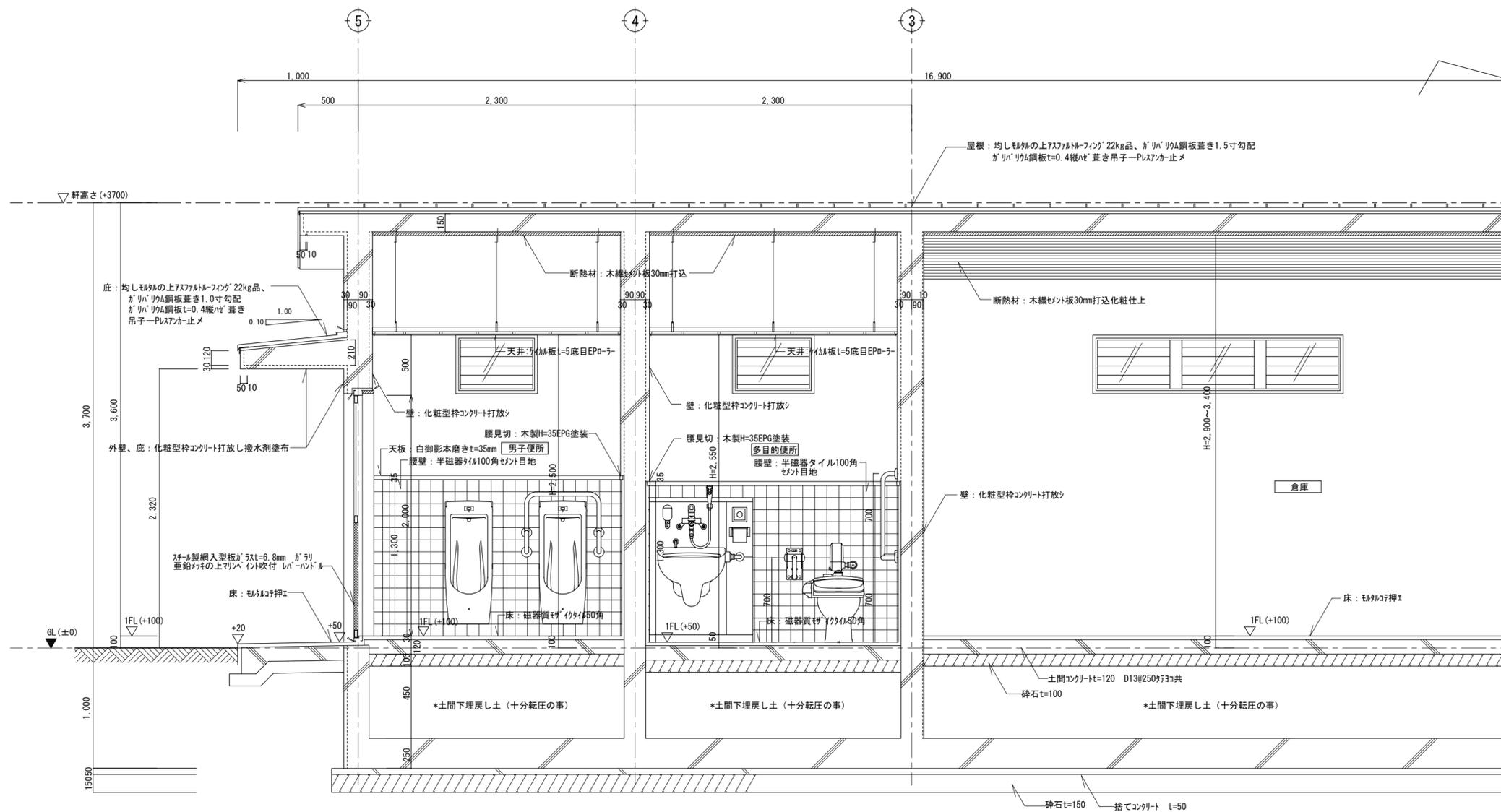
B 矩形図 S=1/30 〃 コメント(※)を明示

原寸紙サイズ：A2	京丹波町							町長	副町長	参事	主管課長	核算	設計	工事名	平成21年度(繰越) 松山小学校屋外便所棟新築工事		図番
	設計番号	平成 22 年 10 月	B 矩形図		縮尺	A2 S=1/30 A3 S=1/42	A-15										



C 矩形図 S=1/30 / コーキング (ホリフォーム材) を示す

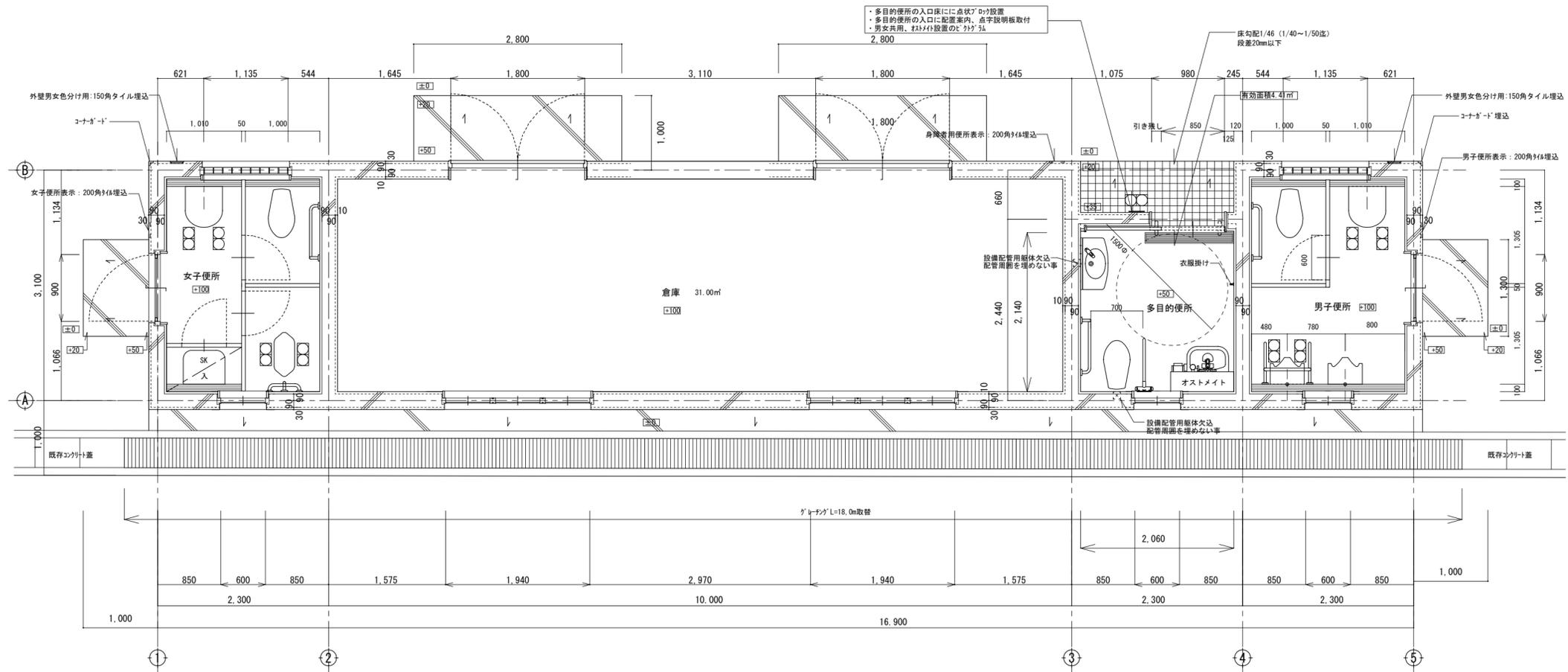
原寸紙サイズ: A2	京丹波町					町長	副町長	参事	主管課長	検算	設計	工事名	平成21年度(繰越) 松山小学校屋外便所棟新築工事		図番
	設計番号		平成 22 年 10 月		C 矩形図								縮尺	A2 S=1/30 A3 S=1/42	



D 矩形図 S=1/30

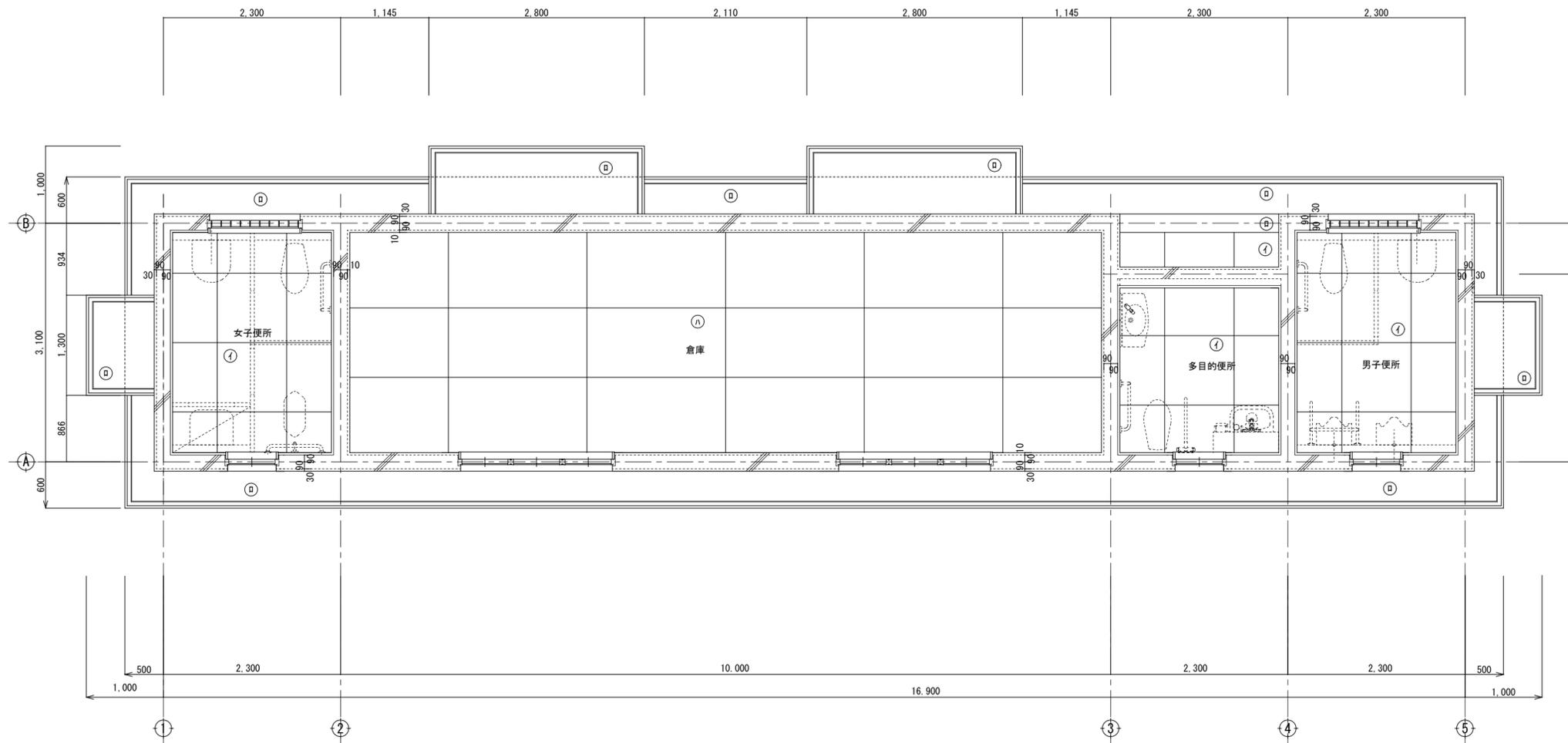
ノ コキング (ネリファサイト) を示す

原寸紙サイズ: A2	京丹波町		決 裁 欄	町長	副町長	参事	主管課長	検算	設計	工事名	平成21年度(繰越) 松山小学校屋外便所棟新築工事		図 番
	設計番号	平成 22 年 10 月									図名	D 矩形図	縮尺 A2 S=1/30 A3 S=1/42



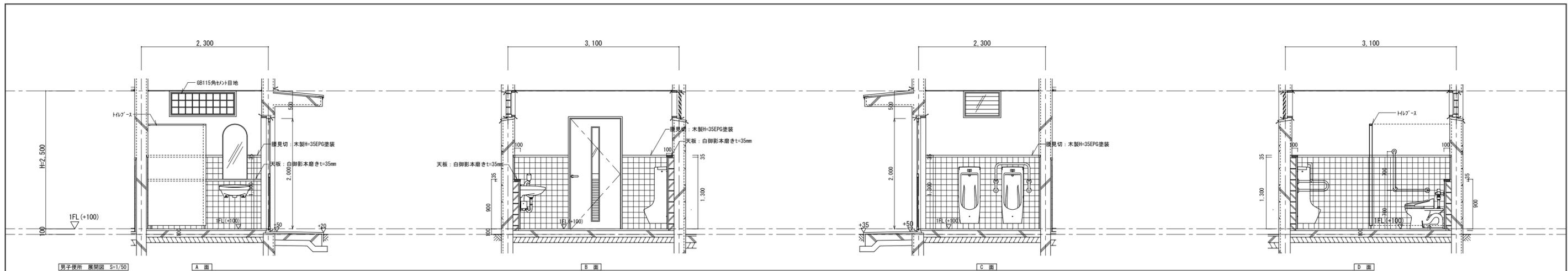
平面詳細図 S=1/50 52.39㎡

原寸紙サイズ: A2	京丹波町					決裁欄	町長	副町長	参事	主管課長	検算	設計	工事名	平成21年度(繰越) 松山小学校屋外便所棟新築工事		図番
	設計番号	平成 22 年 10 月												図名	平面詳細図	縮尺



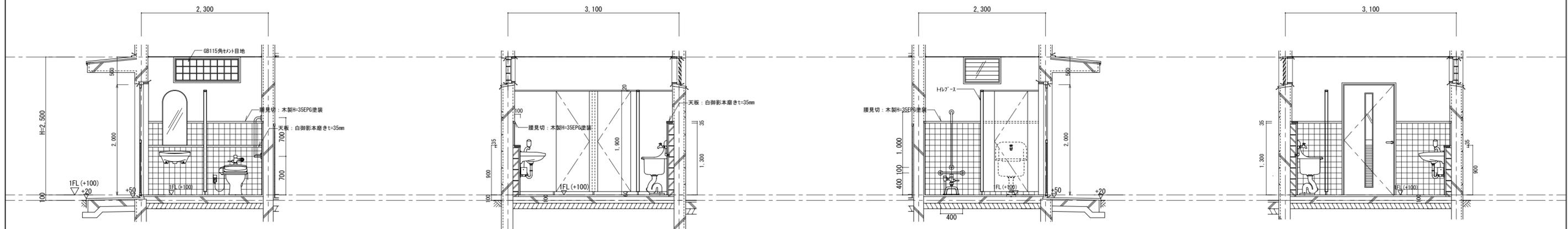
天井伏図 S=1/50

①	多目的便所前 踏込軒天・ケイ化板t=5mm底目 EPQ-ラ (ダークグレー)
②	軒天：化粧型枠コンクリート打放し撥水剤塗布
③	断熱材：木繊維マット板30mm打込化粧仕上 矽酸N不燃 (神戸不燃板工業株式会社同等)



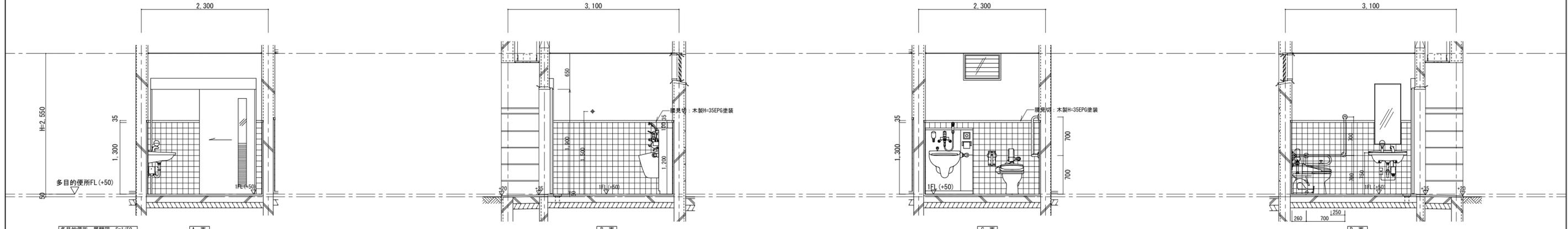
男子便所 展開図 S=1/50

天井	ケム板t=5底目 EP塗装
廻縁	フビ廻り縁 EP塗装
壁	化粧型枠コンクリート打放し
腰壁	半磁器タイル100角 (ミスター・マジック INAX同等) セメント目地
床	磁器質タイル150角 (INAX) レイン50同等) セメント目地
備考	* 特記無き限り上記の仕上とする。 * 床の一部：身障者用床タイル150角 位置表示型 (INAX身障者床タイル同等)



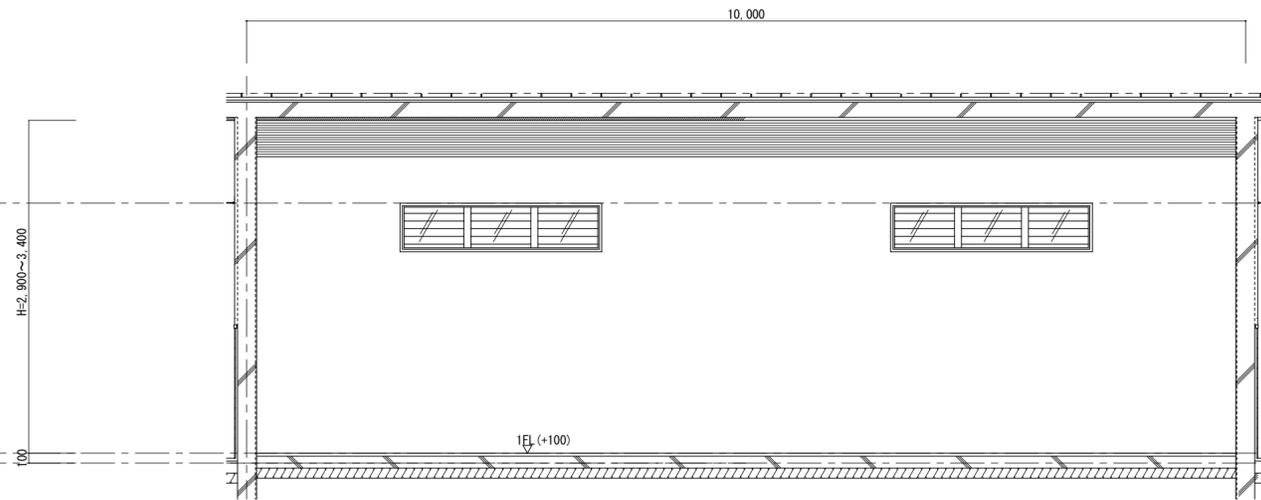
女子便所 展開図 S=1/50

天井	ケム板t=5底目 EP塗装
廻縁	フビ廻り縁 EP塗装
壁	化粧型枠コンクリート打放し
腰壁	半磁器タイル100角 (ミスター・マジック INAX同等) セメント目地
床	磁器質タイル150角 (INAX) レイン50同等) セメント目地
備考	* 特記無き限り上記の仕上とする。 * 床の一部：身障者用床タイル150角 位置表示型 (INAX身障者床タイル同等)



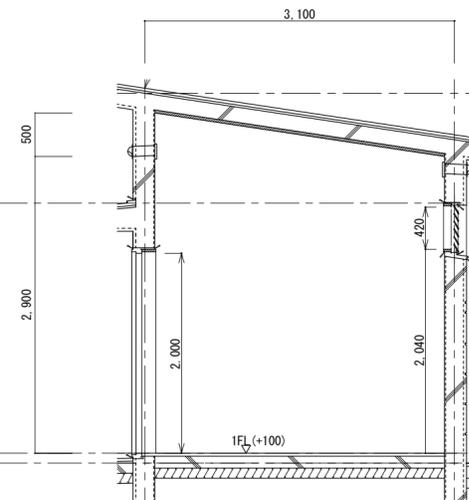
多目的便所 展開図 S=1/50

天井	ケム板t=5底目 EP塗装
廻縁	フビ廻り縁 EP塗装
壁	化粧型枠コンクリート打放し
腰壁	半磁器タイル100角 (ミスター・マジック INAX同等) セメント目地
床	磁器質タイル150角 (INAX) レイン50同等) セメント目地
備考	* 特記無き限り上記の仕上とする。 * 床の一部：身障者用床タイル150角 位置表示型 (INAX身障者床タイル同等)



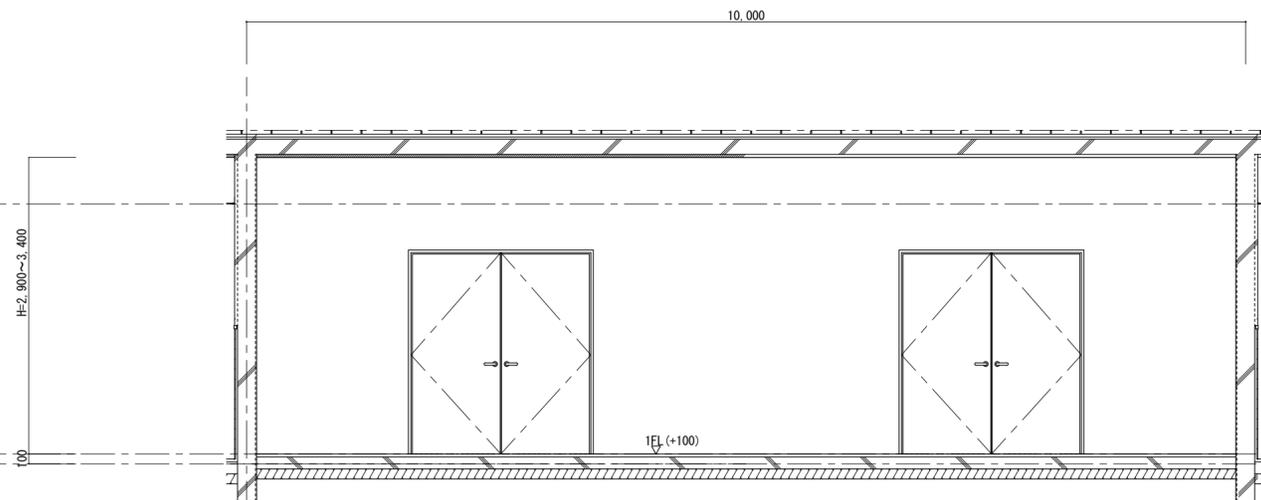
倉庫 展開図 S=1/50

A面

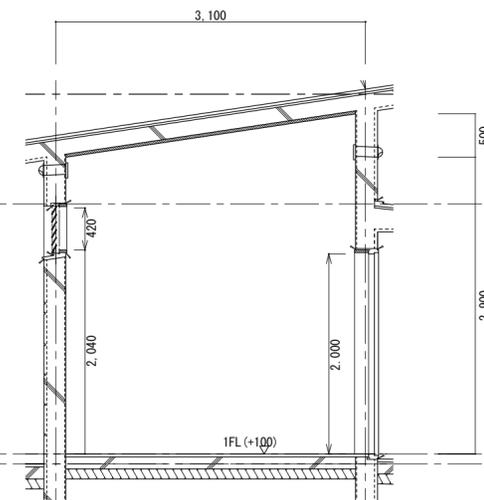


B面

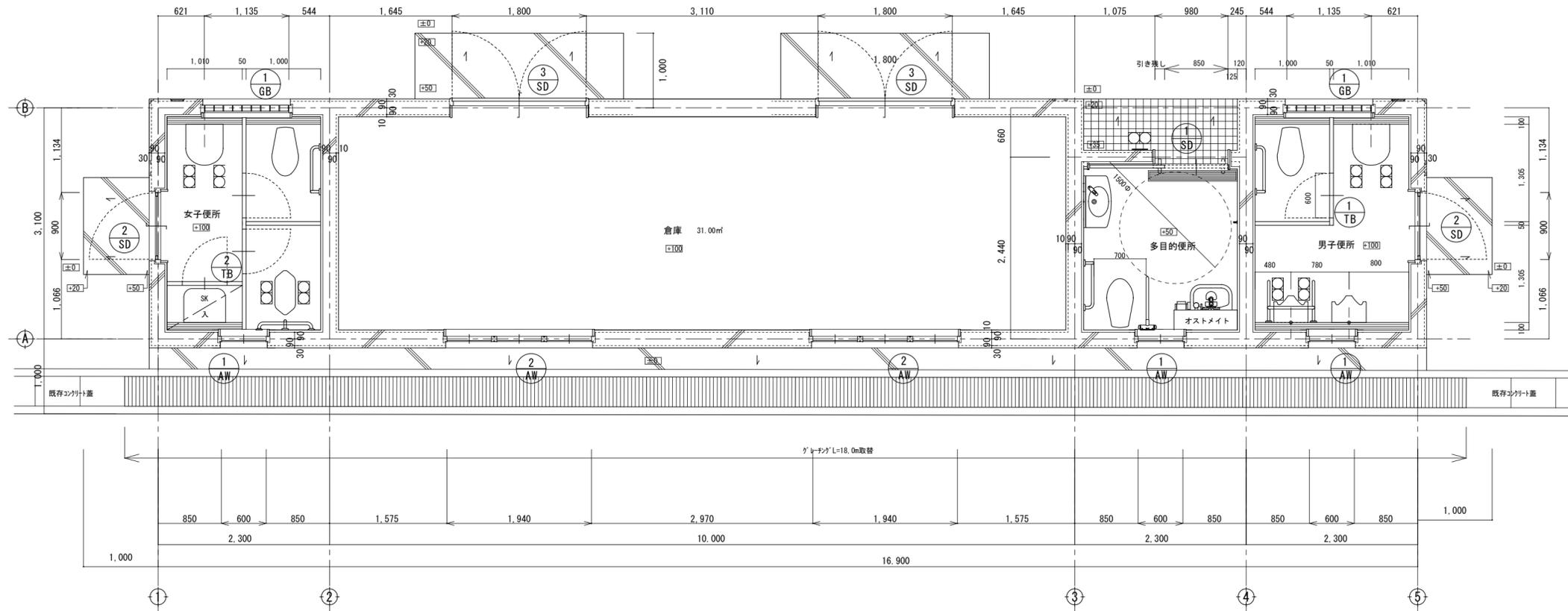
天井	断熱材：木繊維マット板30mm打込化粧仕上 モルタル不燃（神戸不燃板工業株式会社同等）
廻縁	---
壁	化粧型枠コンクリート打放
床	モルタルコテ押目地切仕上 目地@2m
備考	*特記無き限り上記の仕上とする。



C面



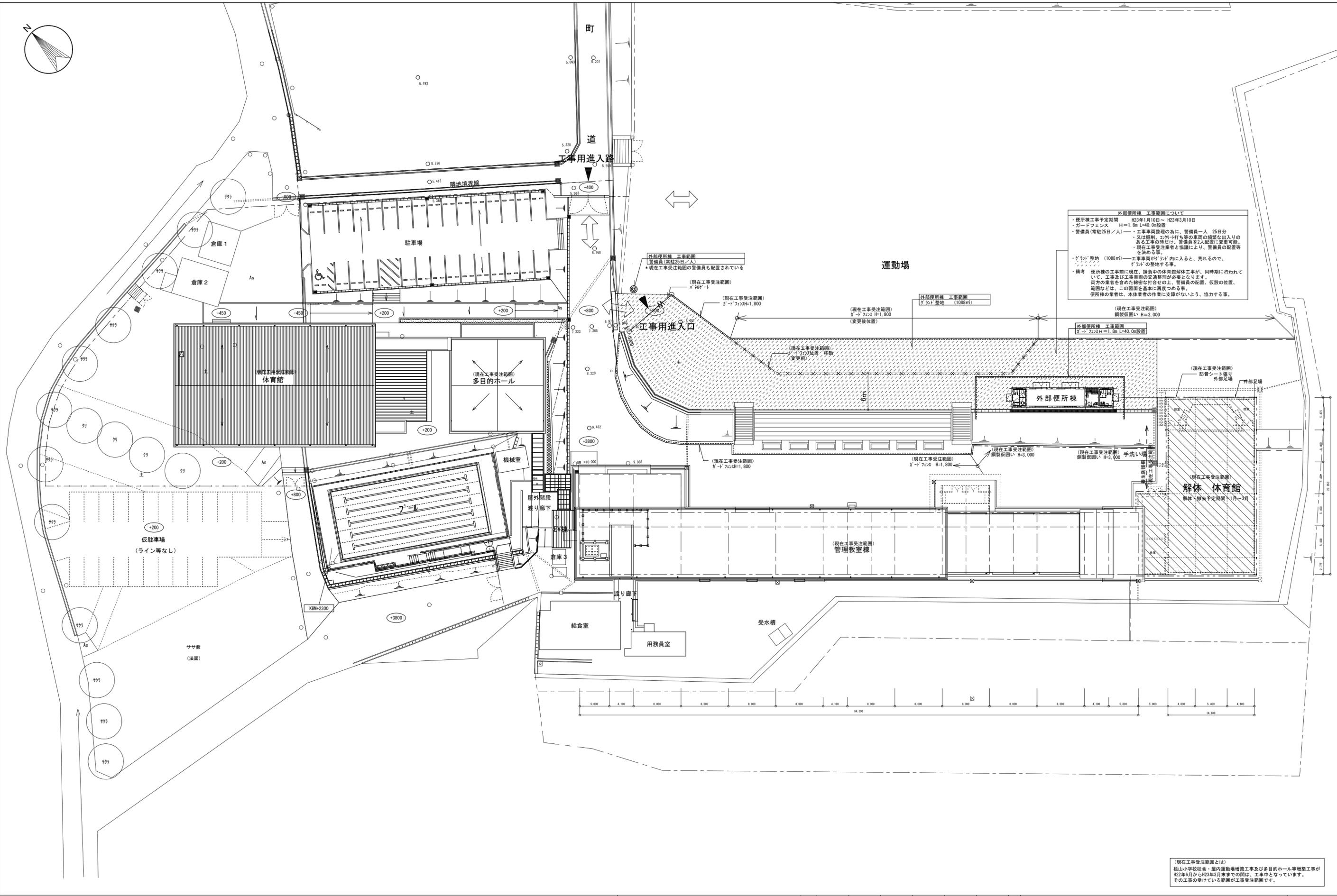
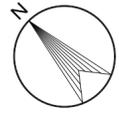
D面



建具伏図 S=1/50

原寸紙サイズ：A2	京丹波町		決 裁 欄	町長	副町長	参事	主管課長	検算	設計	工事名	平成21年度（繰越）松山小学校屋外便所棟新築工事		図 番
	設計番号	平成 22 年 10 月									図名	建具伏図	縮尺 A2 S=1/50 A3 S=1/70

符 号	数 量 見 込	① AW	3ヶ 70mm	② AW	2ヶ 70mm	① SD	1ヶ	② SD	2ヶ 100mm	③ SD	2ヶ 100mm	① GB	2ヶ 100mm
		姿 図											
取 付 場 所	男子便所・女子便所・多目的便所	倉 庫	多目的便所	* (小松ウォール工業株同等)	男子便所・女子便所	倉 庫	男子便所・女子便所						
形 式	アルミ製ガラスルーバーサッシ	アルミ製ガラスルーバーサッシ	カームドア 外付け枠タイプ		スチール製片開きフラッシュ戸	スチール製両開きフラッシュ戸	7{製枠						
仕 上	電解着色 (ステンカラー)	電解着色 (ステンカラー)	亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装仕上		亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装仕上	亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装仕上							
ガ ラ ス	RW 7=6.8	RW 7=6.8	型板ガラス		RW 7=6.8		ガラスワロック115角t=80 (カスミ)						
金 物 類	メーカー標準仕様金物一式	メーカー標準仕様金物一式	メーカー標準仕様金物一式		丁番・レバー・ハンドル・(外)シリンダー錠(内)サムターン	丁番・レバー・ハンドル・(外、内)シリンダー錠							
そ の 他	水切 4方アングルヒール ス 網戸 下部開閉チェーン	水切 4方アングルヒール ス 網戸 下部開閉チェーン	ステンS25φ取手 樹脂製サムターン (非常解錠表示付)		スチール三方枠 ステンレス下枠 ドアチェック	スチール三方枠 ステンレス下枠 ドアチェック フランス落シ							
備 考	サッシ色 : ステンカラー	サッシ色 : ステンカラー	7{押出がうり、傾斜レール、制御装置エアダンパー、ハンガー戸車		建具 40mm	建具 40mm	セメント目地 (クレー)						
符 号	数 量 見 込	① TB		1ヶ		② TB		1ヶ					
姿 図													
取 付 場 所	男子便所	女子便所											
形 式	トイレブース	トイレブース											
仕 上	メラミン樹脂化粧板	メラミン樹脂化粧板											
ガ ラ ス													
金 物 類	メーカー標準仕様金物一式	メーカー標準仕様金物一式											
そ の 他	笠木、戸当たり等 : 7{製 表示付スライドラッチ	笠木、戸当たり等 : 7{製 表示付スライドラッチ											
備 考	ハネル 40mm (芯材 : A'-A'-C7)	ハネル 40mm (芯材 : A'-A'-C7)											

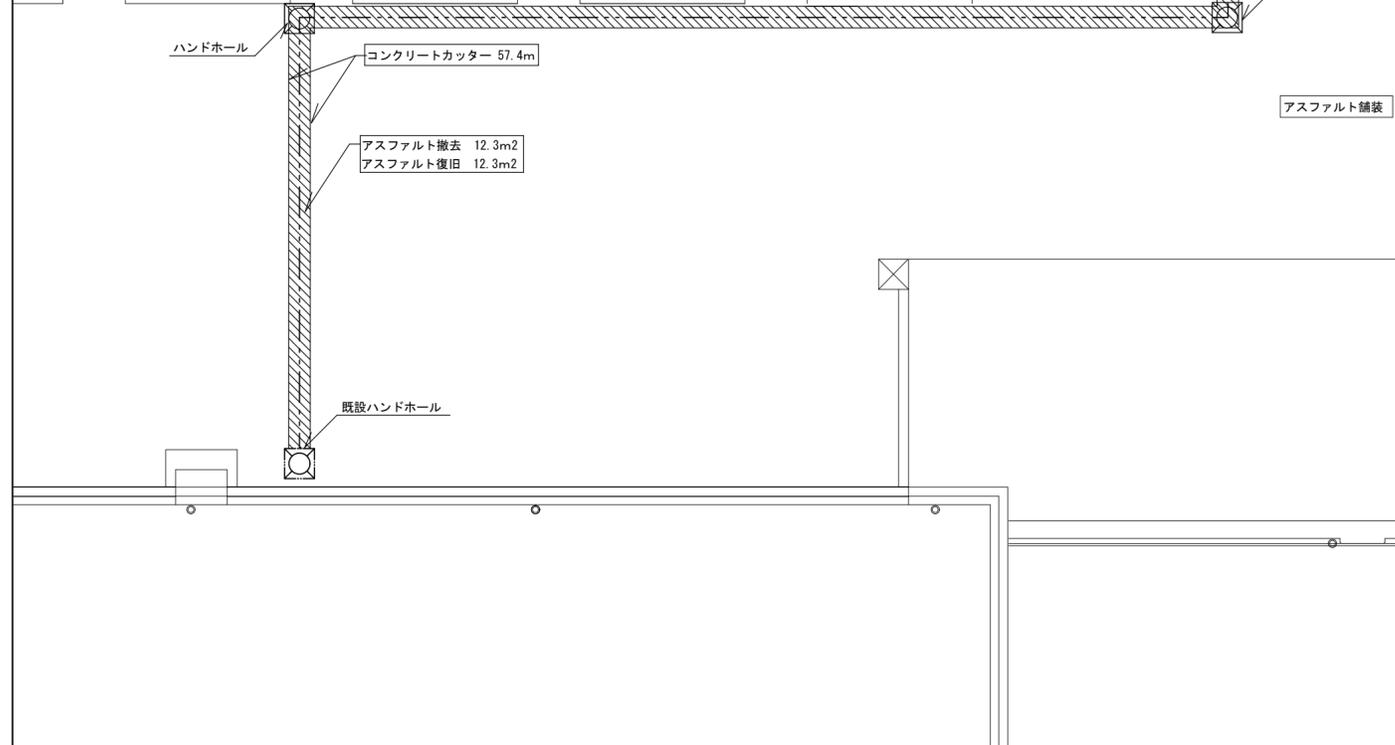
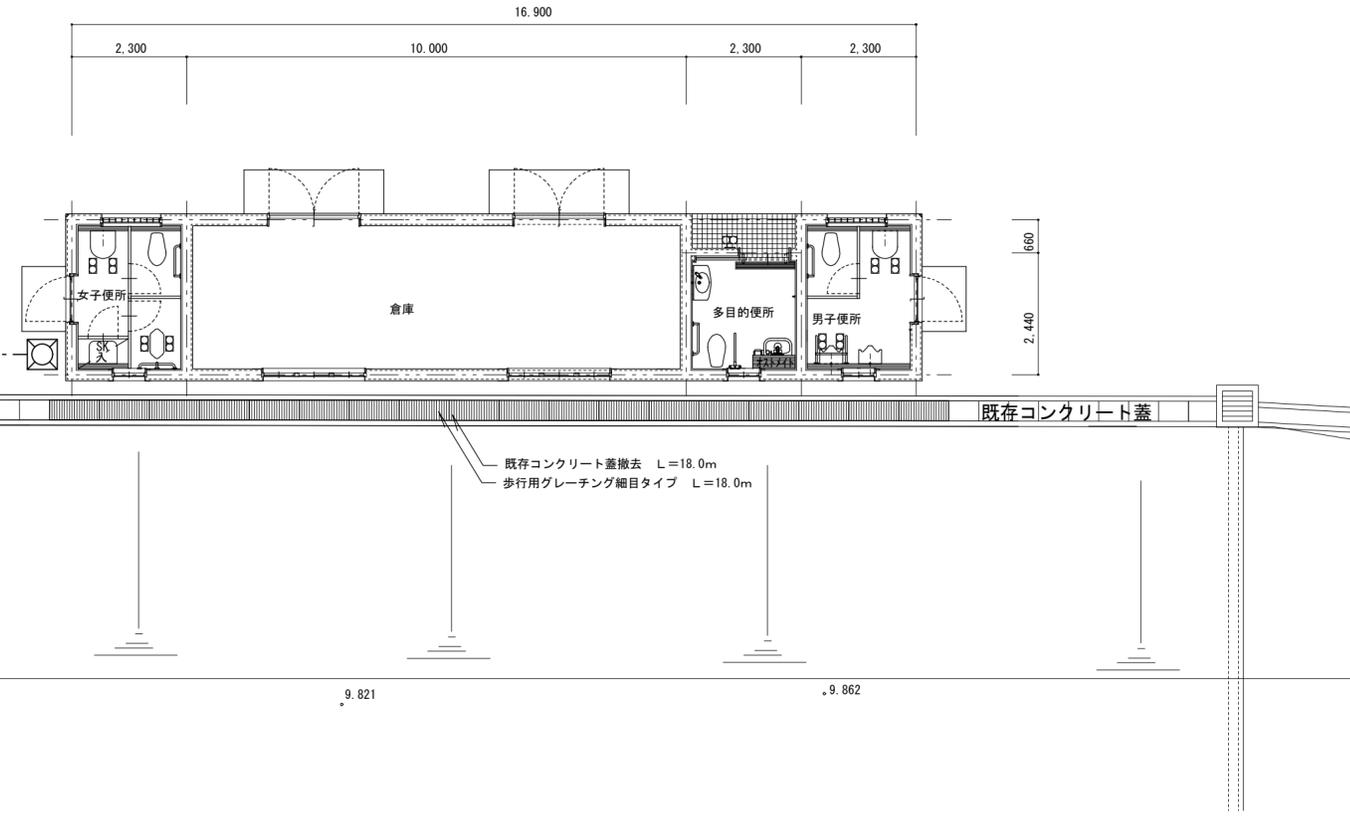
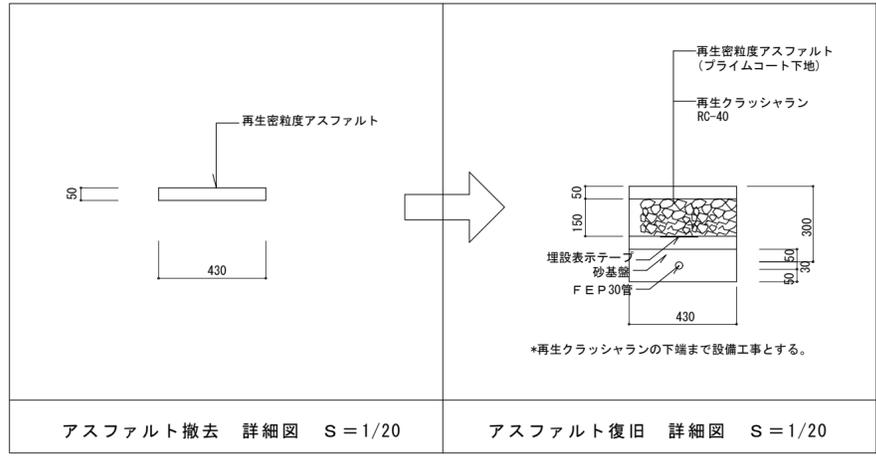


外部便所棟 工事範囲について

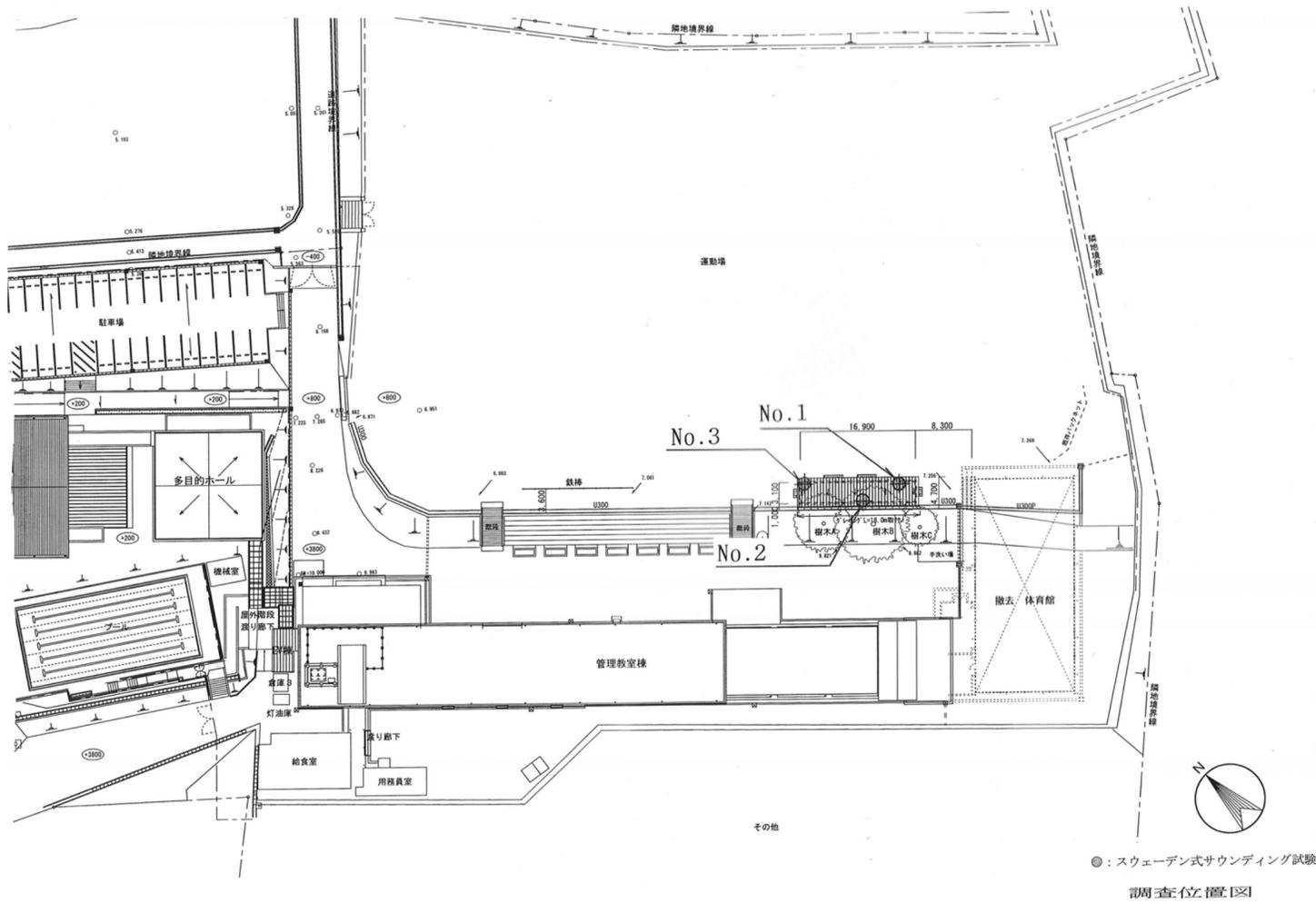
・使用工事予定期間 H23年1月10日～H23年3月10日
 ・ガードフェンス H=1.8m L=40.0m設置
 ・警備員(常駐25日/人) ー 工事車両管理のために、警備員一人、25日分
 ・又は掘削、シフト打ち等の車両の頻繁な出入りがある工事の時だけ、警備員を2人配置に変更可能。
 ・現在工事受注業者と協議により、警備員の配置等を定める事。
 ・グランド敷地(1088㎡) ー 工事車両がグランド内に入ると、荒れるので、グランドの整地する事。
 ・備考 便所棟の工事前に現在、請負中の体育館解体工事が、同時期に行われていて、工事及び工事車両の交通管理が必要となります。
 両方の業者を含めた綿密な打合せの上、警備員の配置、仮設の位置、範囲などは、この図面を基本に再度つめる事。
 便所棟の業者は、本体業者の作業に支障がないよう、協力する事。

(現在工事受注範囲とは)
 松山小学校校舎・屋内運動場増築工事及び多目的ホール等増築工事がH22年6月からH23年3月までの間は、工事中となっています。
 その工事の受けている範囲が工事受注範囲です。

原寸紙サイズ：A2	京丹波町		決裁欄	町長	副町長	参事	主管課長	検算	設計	工事名	平成21年度(繰越)松山小学校屋外便所棟新築工事	図番 A-24
	設計番号	平成 22 年 10 月								図名	仮設計画図	



原寸紙サイズ：A2	京丹波町		決裁欄	町長	副町長	参事	主管課長	検算	設計	工事名	平成21年度（繰越）松山小学校屋外便所棟新築工事		図番
	設計番号	平成 22 年 10 月									図名	外構図（撤去・復旧）	縮尺 A2 S=1/100 A3 S=1/141



○：スウェーデン式サウンディング試験
調査位置図

参考までに長期の許容地耐力とN値を関連づけるものとして、表4.2が得られている。

表4.2 長期許容地耐力表⁵⁾

地盤	長期許容地耐力 ^{※4} (kN/m ²)	備考	
		N値	Nsw値
土丹盤	300	30以上	
礫層 密実なもの 密実でないもの	600	50以上	
	300	30以上	
砂質地盤 密なもの 中位 ゆるい ^{※1} 非常にゆるい ^{※1}	300	30~50	400以上
	200	20~30	250~400
	100	10~20	125~250
	50	5~10	50~125
粘土質地盤 非常に硬い 堅い 中位 軟らかい ^{※2} 非常に軟らかい ^{※2}	30以下	5以下	50以下
	200	15~30	250以上
	100	8~15	100~250
	50	4~8	40~100
	30	2~4	0~40
関東ローム 硬い やや硬い 軟らかい ^{※3}	20以下	2以下	Wsw 100以下
	150	5以下	50以上
	100	3~5	0~50
	50以下	3以下	Wsw 100以下

(注) ※1 液状化の検討を要す。
※2 過大な沈下に注意を要す。
※3 2次堆積土では長期許容地耐力2 t/m²以下のこともある。
※4 短期許容地耐力は長期の1.5~2.0倍をとることができる。

3.2 調査結果のまとめ

調査地盤におけるNsw値からの換算N値及び許容支持力を調査地点毎に示す。

【No.1地点】

表3.1 換算N値の推定(No.1地点)

荷重 Wsw (kN)	半回転数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当たりの半回転数 Nsw	換算 N 値 (回)	換算 qa 値 (kN/m ²)	土質名
0.30	0	0.03	3	0	0.6000	2,700.00	粘土混じり砂
0.40	0	0.04	1	0	0.8000	4,800.00	
0.50	0	0.05	1	0	1.0000	7,500.00	
0.75	0	0.06	1	0	1.5000	16,875.00	
1.00	0	0.07	1	0	2.0000	30,000.00	
1.00	19	0.25	18	106	9.1020	114,800.00	
1.00	10	0.50	25	40	4.6800	62,000.00	
1.00	11	0.75	25	44	4.9480	65,200.00	
1.00	17	1.00	25	68	6.5560	84,400.00	
1.00	19	1.25	25	76	7.0920	90,800.00	
1.00	20	1.50	25	80	7.3600	94,000.00	
1.00	16	1.75	25	64	6.2880	81,200.00	
1.00	85	2.00	25	340	24.7800	302,000.00	
1.00	135	2.12	12	1083	74.5610	896,400.00	
1.00	50	2.13	1	5000	337.0000	4030.0000	

【No.1地点】

この地点は、粘土混じり砂と砂礫から構成される。粘土混じり砂は、GL-0.00~1.75m 間に見られ、Nsw が40~106回で非常にゆるい~ゆるい値である。砂礫は、GL-1.75以深に見られ、Nsw が340~5000回で中位から密な値である。また、全体の地形から推測するとGL-1.75m以深より地山(非常に硬い層)層と考えられる。

【No.2地点】

表3.2 換算N値の推定(No.2地点)

荷重 Wsw (kN)	半回転数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当たりの半回転数 Nsw	換算 N 値 (回)	換算 qa 値 (kN/m ²)	土質名
0.30	0	0.05	5	0	0.6000	2,700.00	粘土混じり砂
0.40	0	0.06	1	0	0.8000	4,800.00	
0.50	0	0.07	1	0	1.0000	7,500.00	
0.75	0	0.08	1	0	1.5000	16,875.00	
1.00	0	0.09	1	0	2.0000	30,000.00	
1.00	7	0.25	16	44	4.9480	65,200.00	
1.00	9	0.50	25	36	4.4120	58,800.00	
1.00	6	0.75	25	24	3.6080	49,200.00	
1.00	12	1.00	25	48	5.2160	68,400.00	
1.00	23	1.25	25	92	8.1640	103,600.00	
1.00	29	1.50	25	116	9.7720	122,800.00	
1.00	36	1.75	25	144	11.6480	145,200.00	
1.00	150	1.88	13	1154	79.3180	953,200.00	
1.00	50	1.89	1	5000	337.0000	4030.0000	

【No.2地点】

この地点は、粘土混じり砂と砂礫から構成される。粘土混じり砂は、GL-0.00~1.75m 間に見られ、Nsw が24~144回で非常にゆるい~中位な値である。砂礫は、GL-1.75以深に見られ、Nsw が1154~5000回で密な値である。また、全体の地形から推測するとGL-1.75m以深より地山(非常に硬い層)層と考えられる。

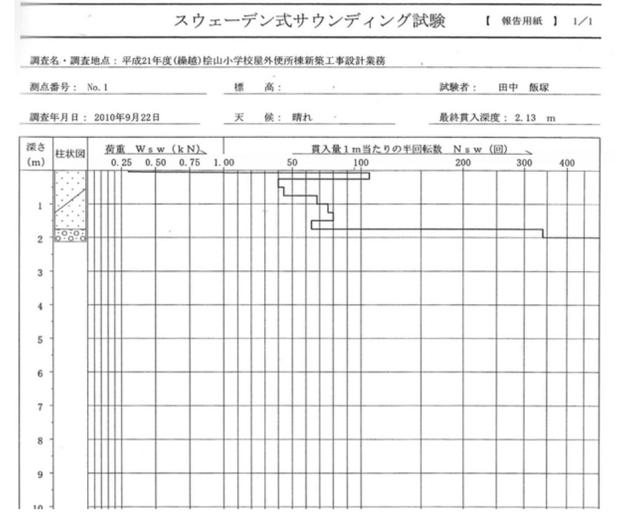
【No.3地点】

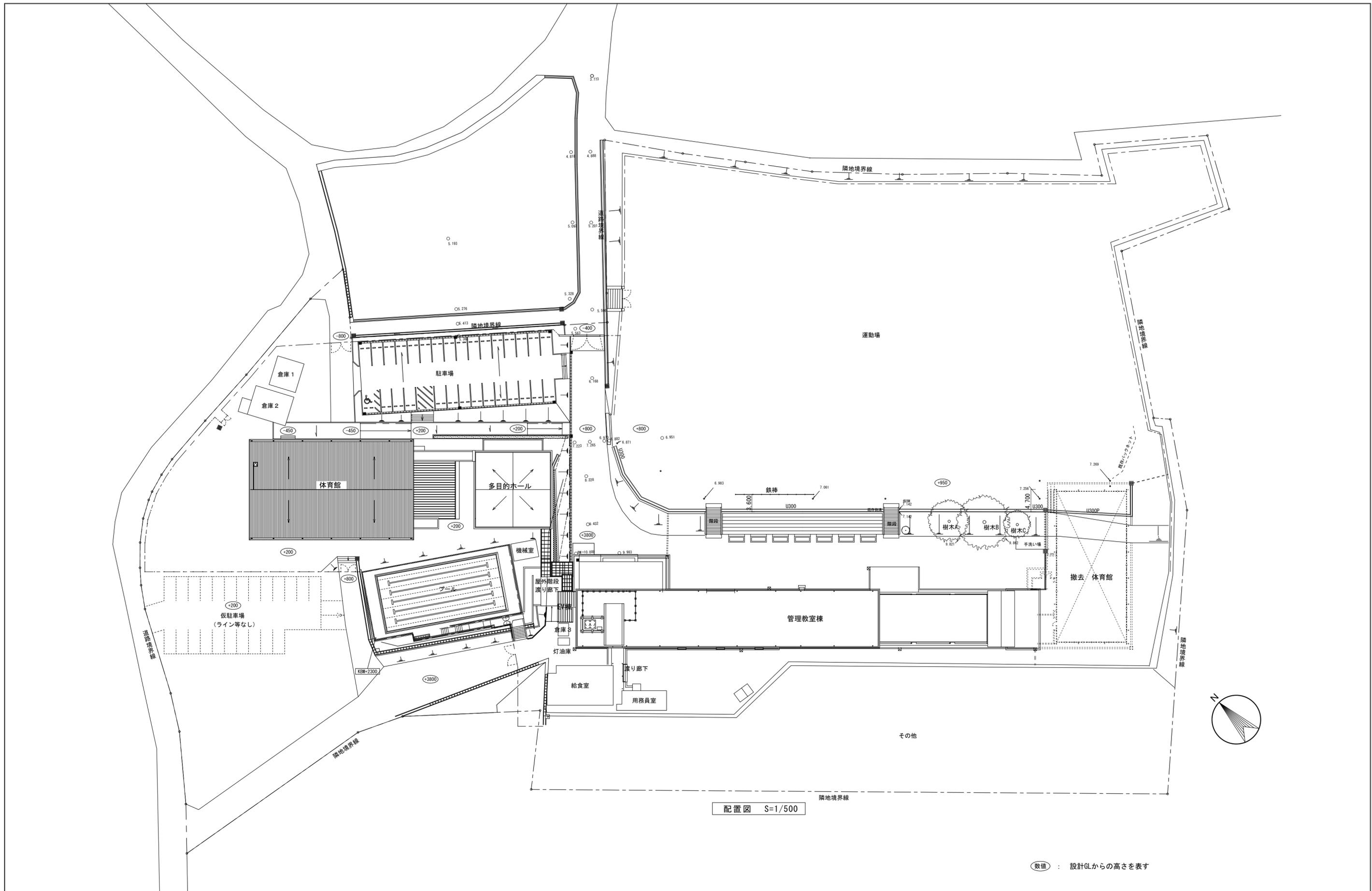
表3.3 換算N値の推定(No.3地点)

荷重 Wsw (kN)	半回転数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当たりの半回転数 Nsw	換算 N 値 (回)	換算 qa 値 (kN/m ²)	土質名
0.30	0	0.01	1	0	0.6000	2,700.00	粘土混じり砂
0.40	0	0.02	1	0	0.8000	4,800.00	
0.50	0	0.03	1	0	1.0000	7,500.00	
0.75	0	0.04	1	0	1.5000	16,875.00	
1.00	0	0.05	1	0	2.0000	30,000.00	
1.00	24	0.25	20	120	10.0400	126,000.00	
1.00	18	0.50	25	72	6.8240	87,600.00	
1.00	17	0.75	25	68	6.5560	84,400.00	
1.00	18	1.00	25	72	6.8240	87,600.00	
1.00	9	1.25	25	36	4.4120	58,800.00	
1.00	11	1.50	25	44	4.9480	65,200.00	
1.00	67	1.53	3	2233	151.6110	1816,400.00	
1.00	50	1.54	1	5000	337.0000	4030.0000	

【No.3地点】

この地点は、粘土混じり砂と砂礫から構成される。粘土混じり砂は、GL-0.00~1.50m 間に見られ、Nsw が36~120回で非常にゆるい~ゆるい値である。砂礫は、GL-1.50以深に見られ、Nsw が2233~5000回で密な値である。また、全体の地形から推測するとGL-1.50m以深より地山(非常に硬い層)層と考えられる。





原寸紙サイズ : A2	京丹波町		決 裁 欄	町長	副町長	参事	主管課長	検算	設計	工事名	平成21年度(繰越) 松山小学校屋外便所棟新築工事		図 番
	設計番号	平成 22 年 10 月									図名	既存 配置図	縮尺 A2 S=1/500 A3 S=1/704